

協議事項 2 資料

次期岩手県スポーツ推進計画について

文化スポーツ部

「第2期岩手県スポーツ推進計画」の策定について

1 計画の策定方針について**(1) 計画策定の趣旨**

スポーツ基本法に基づく「地方スポーツ推進計画」である「岩手県スポーツ推進計画(2019年度～2023年度)」が令和5年度までの計画期間となっていることから、次期計画(2024年度～2028年度)を策定する。

(2) 計画期間

2024(令和6)年度から2028(令和10)年度の**5年間**とする。

(3) 計画の構成等

現行の岩手県スポーツ推進計画の構成等を基本とし、国の「第3期スポーツ基本計画」(令和4年3月策定)及び「いわて県民計画(2019～2028)」第2期アクションプラン(令和5年3月策定)を踏まえた内容とする。

2 計画について

1の策定方針に基づき、以下の内容とする。

(1) 第1章 計画策定の考え方

「1 計画の趣旨」、「4 スポーツの意義」に以下の内容を追加するとともに、新たに、5、6の項目を追加する。

1 計画の趣旨

- ・ 大規模大会や本県出身のアスリートの国内外での目覚ましい活躍を契機としたスポーツ振興の必要性
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響

4 スポーツの意義

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響

5 現状と課題**6 国の第3期スポーツ基本計画の概要**

次ページに続きます。

(2) 第2章 目指す姿・施策の基本的な方向

(1)から(4)の施策の柱に、以下の内容を追加するとともに、新たに3の項目を追加する。

2 施策の基本的な方向

(1) ライフステージに応じて楽しむ生涯スポーツの推進

- ・ 総合型地域スポーツクラブの活性化や運動部活動の地域移行の促進に向けた取組

(2) 共生社会型スポーツの推進

- ・ インクルーシブスポーツの創出等による、スポーツへの参画機会の拡大

(3) 国際的に活躍する競技スポーツの推進

- ・ 中長期的な視点に立った育成の取組及び最新技術やスポーツ・インテグリティに基づく指導者の育成

(4) 地域を活性化させるスポーツの推進

- ・ 県内のトップ・プロスポーツチームと県民との一体感の醸成を図る等の地域活性化に向けた取組

3 多様な主体との連携

幅広い分野に関わるスポーツ施策を展開していくため、市町村やスポーツ関係団体など、多様な主体との連携が必要であること。

また、DXの推進など、新たな取組を一層進めることで本県のスポーツ施策をより効果的に推進していくことが重要であること。

(3) 第3章 スポーツ推進の施策展開

新たに推進する主な取組として、次の項目について記載する。

1 ライフステージに応じて楽しむ生涯スポーツの推進

- 地域クラブ活動への移行に向けた取組の推進
- スポーツデータを活用した健康増進の拠点づくりに向けた取組の推進
- 「いわてスポーツプラットフォーム」の意見等を踏まえたスポーツ振興の推進
- 県営スポーツ施設等の予約システムの利用促進

2 共生社会型スポーツの推進

- インクルーシブスポーツへの関心の高まりを契機とした取組の推進
- スポーツ施設のユニバーサルデザイン化等障がい者が利用しやすい環境の整備の促進

3 国際的に活躍する競技スポーツの推進

- 「いわてスーパーキッズ」におけるタブレット端末等を活用したアスリート育成の推進
- 中長期的な視点に立ったジュニア期からの競技力向上の推進
- 映像データ分析等デジタル技術を活用した競技力向上の推進
- スポーツデータを活用し、効果的なトレーニングに結び付けるための拠点づくりに向けた取組の推進
- スポーツ団体等の女性役員の登用など、女性がスポーツをしやすい組織づくりに向けた取組の推進

4 地域を活性化させるスポーツの推進

- 東京2020大会を契機とした被災地でのスポーツ交流による本県の魅力発信と震災伝承の取組推進

次ページに続きます。

(4) 第4章 計画の推進・進行管理

第2期アクションプランに合わせ、「国民体育大会天皇杯順位」から「全国大会入賞競技団体数」に指標を変更し、それ以外の指標については、現計画と同様とする。

目標値については、第2期アクションプランと同様の考え方で2028年度まで設定する。

なお、次期アクションプラン策定時（2026年度）に必要な応じて計画の指標を見直すこととする。

施策の柱	指標名	現状値 (2022)	年度目標値				計画目標値 (2028)	
			(2024)	(2025)	(2026)	(2027)		
ライフステージに応じて楽しむ生涯スポーツの推進	週1回以上のスポーツ実施率(20歳以上)	64.7%	(2023) 68.2%	(2024) 69.1%	(2025) 70.0%	(2026) 70.9%	(2027) 71.8%	
	体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合	小5男子	65.0%	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%
		小5女子	77.1%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%
		中2男子	73.6%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%
		中2女子	88.4%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%
共生社会型スポーツの推進	障がい者スポーツの教室大会の参加人数[累計]	9,259人	14,290人	16,920人	19,610人	22,360人	25,170人	
国際的に活躍する競技スポーツの推進	本県関係選手の日本代表選出数[累計]	98人	151人	179人	207人	235人	263人	
	国民体育大会天皇杯全国大会入賞競技団体数[累計]	50団体	110団体	140団体	170団体	200団体	230団体	
地域を活性化させるスポーツの推進	スポーツ大会・合宿・イベント参加者数[累計]	446千人	626千人	754千人	896千人	1,052千人	1,222千人	

3 第2期計画策定スケジュールについて

R5.6 第1回審議会へ諮問

R5.10～市町村・スポーツ関係団体意見照会

R5.11 第2回審議会へ「計画素案」説明

R5.12 12月議会常任委員会へ「計画素案」報告

R5.12 教育委員会協議会へ「計画素案」説明

R5.12～パブリック・コメント（1か月以上）

R6.2 第3回審議会へ「計画案」説明

R6.3 スポーツ推進審議会からの答申

R6.3 2月議会常任委員会へ「計画案」報告

R6.3 計画策定

第1章

1 策定の趣旨

- (1) 国において、2022年3月に第3期スポーツ基本計画を策定
- (2) 2019年RWC釜石開催、2022年日本スポーツマスターズ等の大規模大会開催のレガシーの継承
- (3) 本県出身のスポーツ選手の海外での活躍による、県民のスポーツ機運の高まり

スポーツの推進により、県民の幸福で豊かな暮らしが実現するよう、県民をはじめ市町村やスポーツ関係団体等と連携・協働し、県が総合的かつ計画的に取り組む施策を示すもの

2 計画の位置付け

- (1) 「いわて県民計画（2019～2028）」第2期アクションプランに示している目標や取組等を具体化する個別計画
- (2) スポーツ基本法第10条に基づく「地方スポーツ推進計画」

3 計画の期間

2024年度から2028年度（5年間）

第2期岩手県スポーツ推進計画



第2章

1 目指す姿

スポーツの推進による県民誰もが健やかで輝く岩手の創造

第3章

4つの施策の主な取組内容

【多様な主体との連携】市町村やスポーツ関係団体など、多様な主体と連携し、幅広い分野に関わるスポーツ施策の展開やDXの活用など新たな取組を推進

1 ライフステージに応じて楽しむ生涯スポーツの推進

(1) スポーツ参画人口の拡大

- ①スポーツを楽しむ機会の充実
- ②総合型地域スポーツクラブの充実
 - 新・指導者の確保や資質向上等に向けた取組の支援
- ③スポーツを通じた健康増進
 - 新・スポーツデータを活用した健康づくりの拠点づくりに向けた取組の推進
 - 新・「レッツ！ベクトル」等による健康づくり等

(2) 子どものスポーツ機会の充実

- ①学校体育の充実
- ②運動部活動の充実
 - 新・休日における地域の環境整備の推進
- ③地域における子どものスポーツ機会の充実
 - 新・地域クラブ活動への移行に向けた取組の推進

(3) 成人のスポーツ機会の充実

- ①働く世代のスポーツ参画人口の拡大
- ②高齢者のスポーツ参画機会の充実

(4) スポーツに関わる多様な人材の確保・育成

- ①地域スポーツを支える人材の育成
- ②スポーツボランティアの養成の促進
- ③スポーツ団体の組織・連携体制の強化
 - 拡・「いわてスポーツプラットフォーム」の意見を踏まえたスポーツ振興の推進
- ④スポーツ功労者の表彰の実施

(5) スポーツを楽しむ環境の整備

- ①県有スポーツ施設のストックの適正化
 - 新・あり方検討を踏まえ次期個別施設設計画の策定
- ②地域スポーツ資源の有効活用・利用促進
 - 新・県営スポーツ施設等の予約システムの利用促進

2 共生社会型スポーツの推進

(1) 障がい者スポーツ等の推進

- ①障がい者のスポーツやその他のスポーツの参画機会の充実
 - ・県障がい者スポーツ大会、各種スポーツ教室等への開催や全国障害者スポーツ大会への選手派遣
 - ・教員の資質向上、体育の授業改善等による、児童生徒の運動習慣の定着化
 - 新・インクルーシブスポーツへの関心の高まりを契機とした取組の推進
- ②障がい者がスポーツを楽しむ環境の整備
 - ・公認パラスポーツ指導員の養成研修の実施
 - 拡・スポーツ施設のバリアフリー化等障がい者が利用しやすい環境の整備の促進

(2) 高齢者スポーツの推進（再掲）

- ①高齢者のスポーツ参画機会の充実
 - ・ねんりんピックへの選手団派遣及びいわてねんりんピックの開催支援
- ②スポーツを通じた健康増進
 - 新・スポーツ医・科学の知見を生かした健康づくりの拠点づくりに向けた取組

(3) スポーツにおける女性の活躍推進

- ①女性のスポーツ参画機会の充実
 - ・市町村や総合型クラブ等のスポーツ教室やプログラムの多様化の促進
- ②女性がスポーツを楽しむ環境の整備
 - ・アスレティックトレーナー、いわてアスレティックトレーナーの活用

3 国際的に活躍する競技スポーツの推進

(1) アスリートの発掘・育成

- ①次世代アスリートの発掘・育成
 - 拡・「いわてスーパーキッズ」におけるタブレット端末等を活用したアスリート育成の推進
 - 拡・中長期的な視点に立ったジュニア期からの競技力向上の推進
 - ②国内外で活躍するアスリートの育成
 - ③アスリートが競技生活を継続できる環境の整備
 - 拡・「岩手スポーツアスリート無料職業紹介所」によるアスリートの県内就職の推進
 - ④スポーツ優秀選手の表彰

(2) 競技力向上を支える人材の育成

- ①指導者の資質向上
 - ・全国で活躍する指導者との連携
 - 新・映像データ分析等デジタル技術を活用した競技力向上の推進
- ②アスリートのサポート人材の育成

(3) 競技力向上を支える環境の整備

- ①スポーツ医・科学、情報等を活用した支援
 - 新・スポーツデータを活用し、効果的なトレーニングに結びつけるための拠点づくりに向けた取組の推進
 - ・アスレティックトレーナー、いわてアスレティックトレーナーの活用
- ②競技団体の組織強化
 - 新・スポーツ団体等の女性役員の登用等、女性がスポーツをしやすい組織づくりに向けた取組の推進

4 地域を活性化させるスポーツの推進

(1) 地域の活力につながるスポーツの推進

- ①スポーツコミッションやトップ・プロスポーツチームと連携した地域活性化の推進
 - ・大会・合宿等の誘致
 - ・トップ・プロスポーツチームによるスポーツ教室の開催等
 - ・スポーツアクティビティの普及
- ②大規模スポーツ大会を契機とした人的交流の推進
 - ・「釜石鶴住居復興スタジアム」の利活用等による地域活性化
 - 新・「ラグビー県いわて」の情報発信
 - 新・東京2020大会を契機とした、被災地でのスポーツ交流による本県の魅力発信と震災伝承の取組推進

(2) 経済の活性化につながるスポーツの推進

- ①大規模スポーツイベント等と連携した市場開拓等への支援
 - ・大規模スポーツイベント等の機会を活用した、県産農林水産物をはじめとする県産品のPR、販路拡大等
- ②トップ・プロスポーツと連携した市場開拓等への支援
- ③スポーツビジネスの創出・拡大
 - ・各種スポーツ団体等と市町村や民間事業者等との連携による新たなスポーツビジネスの創出

- 新・第2期計画に新たに記載する取組
- 拡・現計画に記載の取組を拡充する取組

第2期岩手県スポーツ推進計画

2024年度～2028年度

2024（令和6）年 月
岩手県

目 次

第1章 計画策定の考え方

1	計画策定の趣旨	1
2	計画の位置付け	1
3	計画の期間	2
4	スポーツの意義	2
5	現状と課題	4
6	国の第3期スポーツ基本計画（概要）	5

第2章 目指す姿・施策の基本的な方向

1	目指す姿	6
2	施策の基本的な方向	6
3	多様な主体との連携	7
4	スポーツ推進の施策体系	8

第3章 スポーツ推進の施策展開

1	ライフステージに応じて楽しむ生涯スポーツの推進	
(1)	スポーツ参画人口の拡大	9
(2)	子どものスポーツ機会の充実	16
(3)	成人のスポーツ機会の充実	22
(4)	スポーツに関わる多様な人材の確保・育成	25
(5)	スポーツを楽しむ環境の整備	28
2	共生社会型スポーツの推進	
(1)	障がい者等スポーツの推進	32
(2)	高齢者スポーツの推進	37
(3)	スポーツにおける女性の活躍推進	41
3	国際的に活躍する競技スポーツの推進	
(1)	アスリートの発掘・育成	45
(2)	競技力向上を支える人材の育成	50
(3)	競技力向上を支える環境の整備	55
4	地域を活性化させるスポーツの推進	
(1)	地域の活力につながるスポーツの推進	59
(2)	経済の活性化につながるスポーツの推進	62

第4章 計画の推進・進行管理

1	計画の推進	65
2	計画の進行管理	66

3	計画の評価・見直し	66
資料		
1	肥満者の割合	67
2	日常生活における歩行数の増加	67
3	スポーツ少年団数の年次推移	67
4	「いわて健康経営宣言事業」登録事業者数	67
5	岩手県民長寿体育祭参加者数	68
6	市町村別スポーツ推進委員数	68
7	県営スポーツ施設の開場（開館）日に対する利用日数の状況	69
8	タレント発掘・育成事業実施都道府県等一覧	69
9	アスリート県内雇用支援事業で正規職員として就職した選手数	70
10	ホストタウン登録状況	70
11	観光目的の訪日外国人入込数	71
12	計画策定の経過	72
13	岩手県スポーツ推進審議会委員名簿	73

第1章 計画策定の考え方

1 計画策定の趣旨

本県で 2019（成31）年3月に「スポーツの推進に 県民もが健 で 岩手の」を基本理 として「岩手県スポーツ推進計画（2019年度～2023年度）」を策定し 県民一人 と が健 でい い と すとともに の が実現し 性が光る社会の を目指し 生涯スポーツ 共生社会型スポーツの推進 競技力向上 スポーツに 地域活性化な ど 様 な を進 て した

国で 2015（成27）年10月にスポーツ行 を 合的・一 的に推進する「スポーツ 」が設 置さ スポーツに関する 合的 つ計画的な推進を るた 2017（成29）年3月 「第2期 スポーツ基本計画」が策定さ 2022（令和4）年3月に 2022（令和4）年度 2026（令和 8）年度 での5年間の 体的施策等を した「第3期スポーツ基本計画」が策定さ した

本県の計画期間 2019（令和 ）年度に ラ ー ー 2019岩手・ 開 2021（令和3）年度に 2020 リン リレー・ ラリン フ ステ 2022（令和4）年度に 日本スポーツ スター 2022岩手大会 ライン ー ン イン いわて 2022 いわて 国体が本県で開 さ スポーツに る を直に じ 県民のスポーツ の関 が高 る機会とな た 日本大 の 支援 の の 発 競技団体 会場市町村 ランテ アとの に るおもて なしなどに 県民と国内外 の参加者との たな を した

た 2020 リン 競技大会において 本県 の選手が過 多7名 2022 リン ・ ラリン 競技大会に 本県 の選手が過 多タイの 10 名が 場し リン において 選手が の2つの を 選手が を するとい 的 が成し した に 2023（令和5）年3月に 開 さ た ー ー ス ー ラ で 本県 の大 選手 選手 が ン ーとして活躍し 見事 ーを るなど 本県 の選手に る国内外での目 しい活躍が いてお 県民のスポーツに対する機 が つてない ど高 てお の な 機を生 し ー スポーツの に む 要が す

一方 2020（令和2）年 型 ウイ ス が拡大し 多 の大会 イント 地 域における活 が ・ 期等を な さ 県民のスポーツ活 に大 な を け した の な状況を 開するた 基本的な 対策を し 観 開 入場者数 ジタ 技 の活用など 「 しい生活様 」の 様 な を しなが スポーツイ ン ト 大会を開 するなど スポーツを じて日常を す を けて した の な状況を え スポーツの推進に 県民の で な しが実現する 県民を じ 市町村 スポーツ関連団体等と連携・ し 県が 合的 つ計画的に む施策 を した「第2期岩手県スポーツ推進計画」を策定し す

2 計画の位置付け

本計画 「いわて県民計画（2019～2028）」第2期ア ン ランに している目 等 を 体化する 別計画です

た スポーツ基本 第10 に基 「地方スポーツ推進計画」です

3 計画の期間

本計画の期間 2024（令和6）年度 2028（令和10）年度 での5年間とし す

4 スポーツの意義

スポーツ基本 で 「スポーツ 共 の人 の 化」で 「国民が生涯にわた
とも健康で 化的な生活を営む上で なもの」で るとともに「スポーツを じて で
な生活を営む と ての人 の 利」で るとわ てい す
た スポーツ 健康増進 少年の健 育成 地域社会の活性化など 多 的な意義を し
てい す

(1) 健康増進

スポーツ 体力の向上 健康増進 的な充 楽しさ 成 など の健康の保
増進にも 要な 割を たすもので 健康で活力に満 た長寿社会の実現に です
県民 もが 障がいの る人もない人も 性別に関わ の関 性 ライフス
テージ等に応じて日常的にスポーツを楽し スポーツを支える活 に参画する と 県
民の で な しを育む上で て大 な意義を してい す

(2) 青少年の健全育成

スポーツ 次 を 少年の体力を向上させるとともに 者を し と する
正さと規 を 度 を い 実 的な 考力 力を育むなど人 の 成に
大 な を すものです
た スポーツを じた 年齢との ので しい人間関 の を 意 の
向上 定 連 の に資するなど 育的意義が 常に大 いものとな
てい す

(3) 地域社会の活性化

スポーツ スポーツを「する」楽しさ 外にも 人と人との 地域と地域の を
進し 地域の一体 を 成するとともに スポーツを「 る」楽しさ ランテ アとして「さ
さえる」楽しさを する とに 地域社会の活力にもつなが す
た 本県 のスポーツ選手の の 力に基 国際競技大会等における活躍 県民
に と と をもた し 県民のスポーツ の関 を高 るものです
さに 大規 スポーツイ ント スポーツツーリ 国内外 の 拡大につながる
もので 地域経済の活性化にも する とが期 さ す

(4) 東日本大震災津波からの復旧・復興

令和5年3月に策定した「いわて県民計画（2019～2028）」第2期 推進 ランにおいて
日本大 の事実を えた の の を 機とした多様な主体とのつな
が 等を なが の姿 地域の多様な 力の発 業 地域 を 人材
の育成など る が を てい い と し にわた て な しい

地域のスポーツを指すとしておす
スポーツのにおいて生る活力を生し地域のをるたスポ
ーツ活のを支援するとしておした地域の生がスポーツを楽しむとが
でる県内のト・スポーツーと連携しスポーツ等を実施するとともに
市町村体育会等にスポーツ・のを見をするをし民の健康
体力向上を進していす
たラーー2019岩手・開等大規スポーツ大会の開を機とし
た人的・経済的なを推進するたスポーツ大会・合のにむなどスポーツを
楽しむ機会のの進をていす

(5) 新型コロナウイルス感染症の影響

型ウイルスの拡大にスポーツが日の生活わたさた
するとで人にとて見た場合体力のストレスの増加といたの健康保
のの日の成発の機会の等のが生じした
た社会にとて見た場合スポーツをした地域におけるの業の
など県民生活社会活に様なをしたとでもす
のに様なが化したとでむしスポーツがの生活社会に活力を
えるなどたをす要な価をているとをてすとな常事
においても県民がスポーツの価をでるーの力を入てスポーツ実施の推進を
るとがさした

のにスポーツ多様な意義をしていると県として県民一人とが
性別年齢障がいのに関わスポーツを楽しむとにともに健康でいい
としを育てるスポーツに関する施策を合的つ計画的に推進してい
とが要でると考えていす

5 現状と課題

施策の	指 名	現状 2017 (29)	年度目				計画目 2023 (5)	現状 2022 (4)	
			2019 ()	2020 (2)	2021 (3)	2022 (4)			
ライフステージに応じて楽しむ生涯スポーツの推進	1 上のスポーツ 実施 (20 上)	61 7	2018 (30) 63 5	2019 () 64 0	2020 (2) 64 5	2021 (3) 65 0	2022 (4) 65 5	2021 (3) 64 7	
	体力・力が 上の割合	5 子	73 6	74 0	74 0	74 5	75 0	75 0	65 0
		5 女子	82 9	83 0	83 0	83 0	83 0	83 0	77 1
		2 子	77 7	78 0	78 0	78 0	78 0	78 0	73 6
		2 女子	91 3	91 5	91 5	91 5	91 5	91 5	88 4
共生社会型スポーツの推進	障がい者スポーツの ・大会の参加人数 計	2 954 人	3 070 人	6 200 人	5 930 人	9 180 人	12 490 人	9 259 人	
国際的に活躍する競技スポーツの推進	国民体育大会 位	1 位	1 位	1 位	1 位	1 位	1 位	2 位	
	本県関 選手の日本 選 数 計	40 人	28 人	56 人	58 人	86 人	114 人	98 人	
地域を活性化させるスポーツの推進	スポーツ大会・合・ イ ントの参加者数 計	130 人	166 人	310 人	267 人	410 人	556 人	446 人	

型 ウイ ス の に 2020 (令和2) 年度実 が大 込 目 成が と な た指 に ついて 2021 (令和3) 年度に目 の見直しを行い した なお 2022 (令和4) 年度 の増加数 計画 の増加を目指し す

現行計画の4つの施策の の 「ライフステージに応じて楽しむ生涯スポーツの推進」の指「1 上のスポーツ実施」について 20 上の 1 上のスポーツ実施 目 に0.3ポイント な たものの 計画策定 3ポイント上 してお 国の実施 (52.3) を上 てい す 年 別に ると 60 に て 20 50 での が い 向に の の確 が 要です た 「体力・ 力が 上の 生の割合」について 国と して高い で すが 5 女・ 2 女の てで目 を る状況に ・ ・生活の の 成に向けた一体的な の推進が 要です 2つ目の施策の 「共生社会型スポーツの推進」の指 「障がい者スポーツの ・大会の参加人数」について 目 を79人上 したが 障がい者のスポーツの推進を るた 障がい者のスポーツ参画機会の充実を る 要が す 3つ目の施策の 「国際的に活躍する競技スポーツの推進」の指 について 「国民体育大会 位」 1位を目 としてい したが 2019 (令和) 年 2022 (令和4) 年 で 2位とな 目 に せ でした た 「本県関 選手の日本 選 数」の指 について 目 を12人上 したが も 長期的な に たジ ア期 の競技力向上に む 要が す

4つ目の施策の「地域を活性化させるスポーツの推進」の指「スポーツ大会・合・イン
トの参加者数」について 目を36人上したが 人的・経済的な をに推進する
たに 本県で開きた大規 スポーツ大会のレ ーを し スポーツ大会 合 の
県内のト ・ スポーツ ー と県民との一体 の 成 本県の な を生 したスポー
ツア テ テ の 等に 地域活性化につな る 要が す

6 国の第3期スポーツ基本計画（概要）

2022（令和4）年3月に策定さ た 国の「第3期スポーツ基本計画」において スポーツを
環境 社会的状況の進展 化を え 国民が スポーツを「する」「る」「ささえ
る」とを に実現で る社会を目指すた の3つの「 たな 」が 要とさ てい す

社会の 化 状況に応じて の にと わ に に対応するとい スポーツを「つ
る む」とい
様な 場・ ・ 性を した人・ が「 つ 」 「ともに」活 し 「つなが 」
を じなが スポーツに る社会の実現を目指すとい
性別 年齢 障 の 経済的事 地域事 等に わ ての人がスポーツにア
スで る な社会の実現・機 の 成を目指すとい

た 5年間に 合的 つ計画的 む施策として 次の12 目が さ した

多様な主体におけるスポーツの機会
スポーツ における の推進
国際競技力の向上
スポーツの国際 ・ 力
スポーツに る健康増進
スポーツの成長 業化
スポーツに る地方 生
スポーツを じた共生社会の実現
い手となるスポーツ団体の ンス ・ 経営力 化
スポーツの推進に な「 ー 」 「 フト」 「人材」
スポーツを実施する者の ・ の確保
スポーツ・インテ リテ の確保

第2章 ・ 策の基本 方

1



パ

2 策の基本 方

(1) イ ス ー

スポーツの 進

マ

シ

(2) 社会型スポーツの 進

マ

マ

マ

0

(3) 国 活 スポーツの 進

(ル)

す

(4)

5

(4) 地域 活性化 スポーツの 進



(4) マ

3 との

マ



4 スポーツ 進の 策

施策の柱	施策展開の方向	No.	主な施策
1 イ ス ー ポーツの 進	(1) スポーツ 画 の 大		スポーツ 会の
			型地域スポーツ の
			スポーツ 健康増進
	(2) のスポーツ 会の		育の
			活 の
			地域 け のスポーツ 会の
	(3) 成 のスポーツ 会の		のスポーツ 画 の 大
			のスポーツ 画 会の
	(4) スポーツ の 育成		地域スポーツ え の育成
			スポーツ の 成の 進
			スポーツ の の 化
			スポーツ の の
	(5) スポーツ の		スポーツ のス の 化
			地域スポーツ の 活 ・ 進
	2 社会型 スポーツの 進	(1) スポーツ の 進	
			スポーツ の
(2) スポーツの 進			のスポーツ 画 会の ()
			スポーツ 健康増進 ()
(3) スポーツ け 性の活 進			性のスポーツ 画 会の
			性 スポーツ の
3 国 活 ポーツの 進	(1) ス ー の ・ 育成		ス ー の ・ 育成
			国 活 ス ー の 育成
			ス ー 活 の
			スポーツ の
	(2) の育成 え		の
			ス ー の ポー の 育成
	(3) の え		スポーツ ・ 活
			の 化
4 地域 活性 化 スポ ーツの 進	(1) 地域の活 スポーツの 進		スポーツコ ・ ロスポーツ ー と 地域活性化の 進
			大 スポーツ大会 と の 進
	(2) の活性化 スポーツの 進		大 スポーツイ と
			・ ロスポーツと の
			スポーツ スの ・ 大

第3章 スポーツ 進の 策

1 イスー

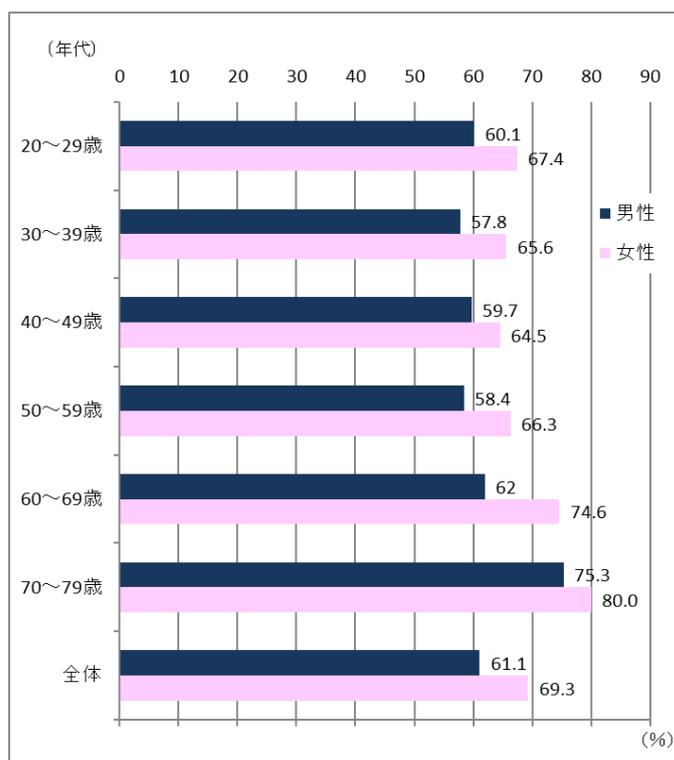
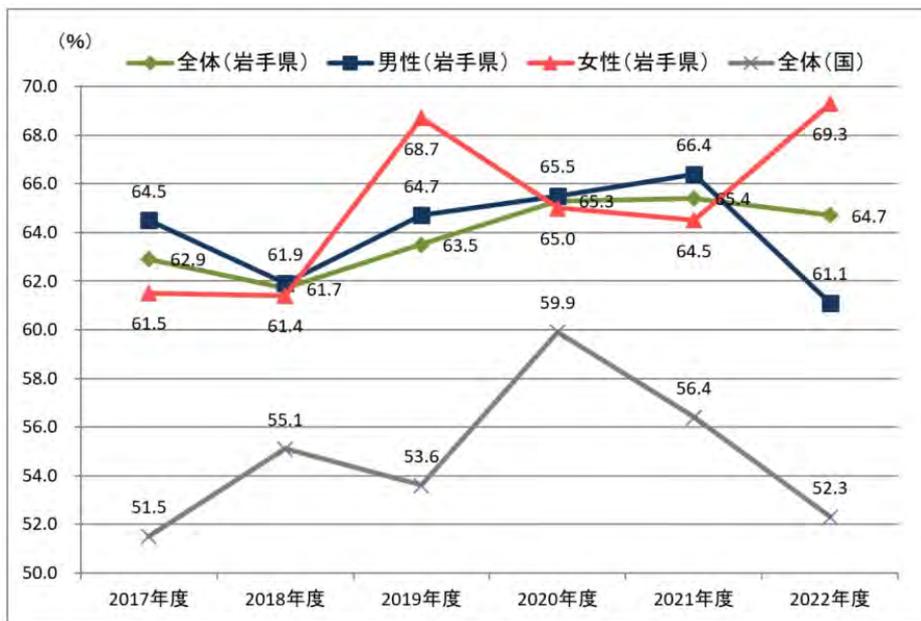
スポーツの 進

白	じ		(
		じ	
體		體	
	し		

	現状 2 22 (4)	年				計画 2 2 (1)
		2 24 (6)	2 25 ()	2 2 ()	2 2 ()	
1						

(1)スポーツ 画 の 大

現状と課題



取 組

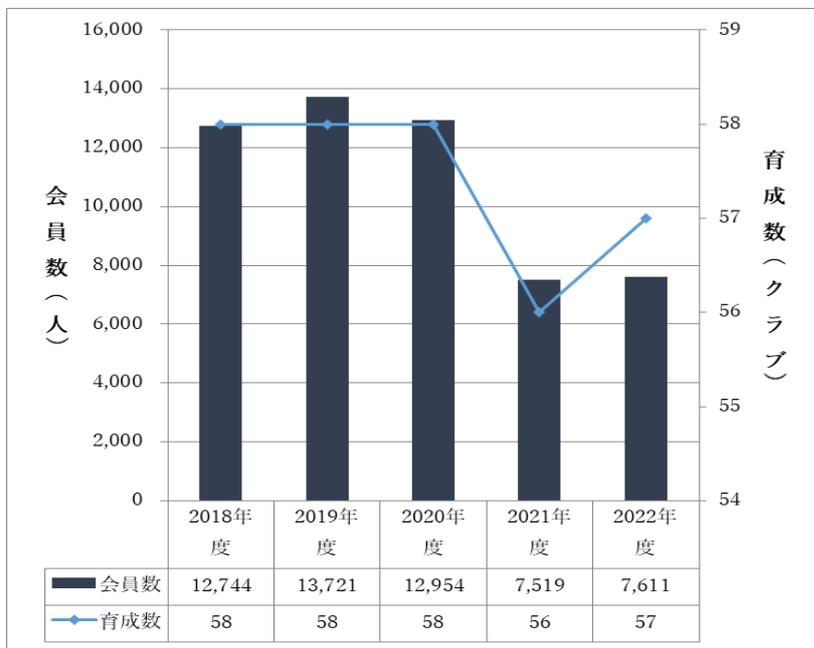
主 主

2

3

取 組

内



取

取

取組内

4

取組

取組

取組

取組

の方性

取組

取組

取

組

取組

取組



スポーツ 会の

内 取組

型地域スポーツ の

取 組

取 組

取 取 内容 取組

スポーツ 健康増進

取組

取組

取 組

取 組

コラム
No.1

スポーツ・レクリエーション等の開催

岩手県では、若年期から高齢期まで、生涯を通じてスポーツを楽しむ機会の充実を図るため、夏には、岩手県立御所湖広域公園艇庫でカヌー・ボートの無料体験等が行われる「湖上フェスティバル」、生涯スポーツ推進月間である10月には、県内各スポーツ施設で野球やトランポリンなど各種交流大会や体験会、体力測定等が行われる「スポーツフェスティバル」、冬には、岩手県営スケート場の無料開放やスケート教室等が行われる「氷上フェスティバル」等季節ごとに各種イベントを開催しているほか、働く世代の皆様に向けて、夜間の時間帯にフィットネスなどの教室や年間を通して柔道、相撲等の武道教室を実施する等、スポ振事業団等と連携し、様々な事業を展開しています。これからも、スポーツを楽しみ、スポーツにより喜びを得ることで、県民がいきいきとした生活を送ることができるよう生涯スポーツの振興に取り組んでいきます。



湖上フェスティバル（カヌー体験）



氷上フェスティバル（スケート体験）



スポーツフェスティバル（野球交流大会・トランポリン体験）



武道教室（柔道・相撲）



1 .

2 型地域スポーツ

主 主

3 域スポーツ

内

内

4 健康

5 健康

6 ス

ツ

取 組

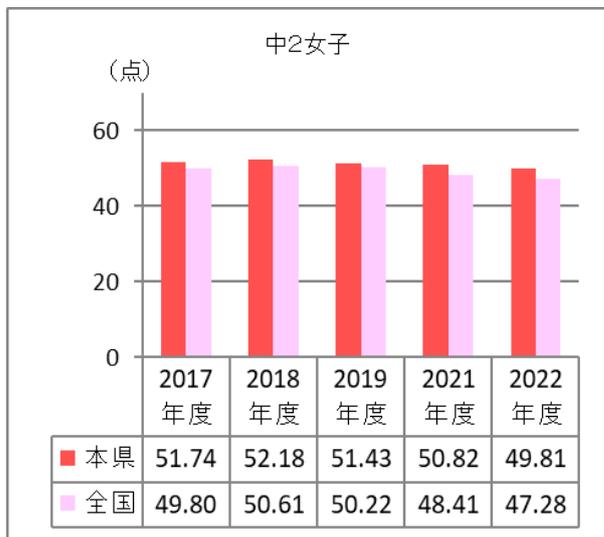
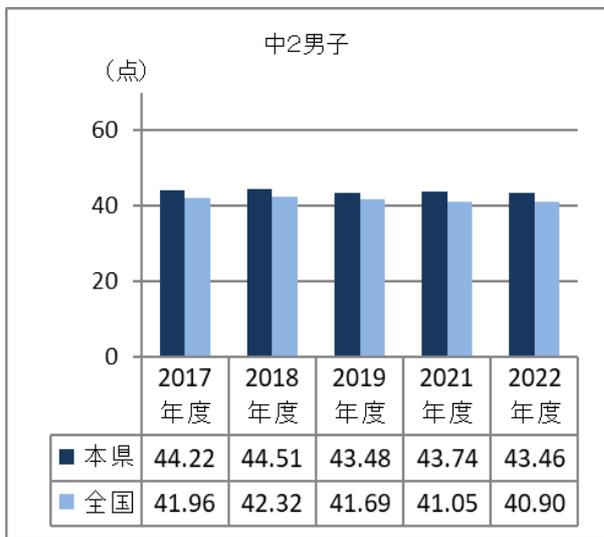
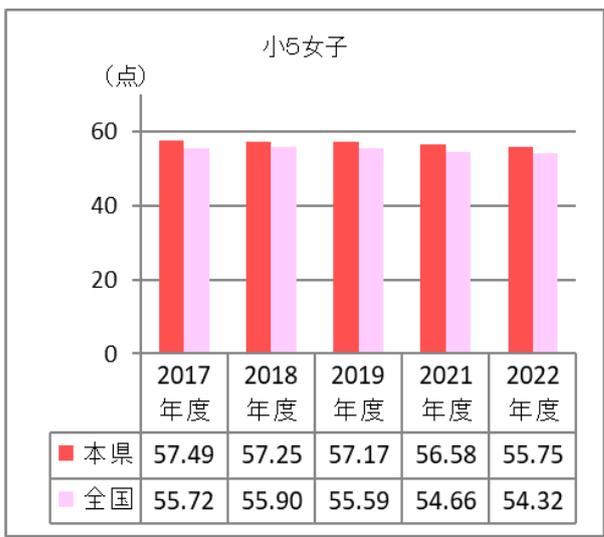
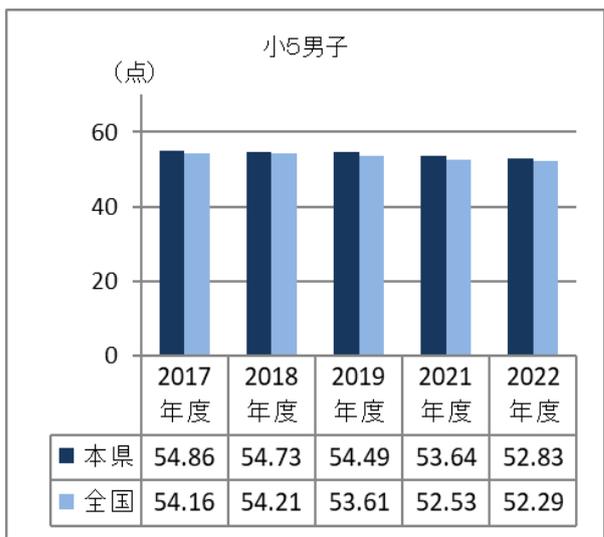
スポーツ 進

—

(2) のスポーツ 会の

現 状 と 課 題

ラ ー ー 2019 (2019) 2020 リン ・ ラリン 競技
 大会 (2020大会) ライ ン ー 2022の開 の 本県 の選手の
 を とした活躍等に スポーツに対する県民の意 が高 てお を 機に
 子どもが生涯にわた て に しむ基 を とが てい す
 国の「 国体力・ カ 等 」¹で 本県 生 の1 間の 間の
 体力合計 ²の スポーツが な割合 国と して高い 向ですが
 する 生 と でない 生 の 化 向が見 す
 た 国が した2022 (令和4)年度 で 体力合計 について 2019 (令和)
 年度 概 連 して ・ の 女ともに が見 した の主な要 として
 肥満で る 生 の増加 ス リーンタイ 増加などの生活 の
 化の 型 ウイ ス の に る ス 用 の しい の などが考え
 す



スポーツ 国体力・ カ 等 年度～ 年度
 (2020年度 型 ウイ ス の に 実施せ)

国の2021（令和3）年度の「保健計」³で肥満度が20以上の肥満向の現が本県のての年において国を上ていす
活体力技の向上をる人間関の意の向上連の
等生の多様な場として育的意義が大いものですが年長間員
の多化生数の少等に位での活営がな地域も生じるなど様
が指さてお生のスポーツ活の機会がなわるとがない対策をじる
要がす

た大会等でつとのをし過なをいるとがないスポーツ・
の観をえた指をするとともに体（力）・ラスト（生の人を
つける言）等のに向けて指者の確保・資向上にむ要がす
スポーツ・の観成長期にる生が事のラン
スのた生活をるとがでるがていす

地域における子どものスポーツ機会としてスポーツ少年団合型ラがす
国のスポーツ少年団数少子化ので年少してお本県においても2017（成29）
年度の1100団2022（令和4）年度の926団で少していす

た本県の2022（令和4）年度の合型ラ2017（成29）年度と数の57ラと
なてお合型ラスポーツ少年団等との連携をなが子どもたの
スポーツに参加する機会を確保する要がす

令和4年12月の国のイライン⁴において令和5年度日の活を的に
地域ラ活移行していとがさたと合型ラスポーツ少年団等の地
域ラ活のけとなる地域スポーツ団体にる入体を整備する要がす
日における活の地域ラ活の移行に向け国の事業を活用し実事業を実施
していす地域の実に応じて的に移行を進るた市町村地域スポーツ団体等と連
携するとが要です

スポーツ少年団の活競技スポーツでな団員の体力力の向上
スポーツのけ技の向上スポーツのつ楽しさの体等をじスポーツの
関意を一発するとが大ですしし年大会を目指した活が定の目
の向をた利上主義的な活にるなどのも指さてお
の対策をじてい要がす

の方 性

生一人とがの体力健康に関をにしむ資力をに付ける
とがでる体育の充実活の推進等に体力の向上にす
・地域・関機関と連携し「い」「しい」「規
正しい生活」の成にす
ののとなる体育健康育育等をする指者の資業力の向上
をす

関団体と連携し生の一をえた活の環境の整備活のい
スポーツ・の観をえた指スの体・ラスト等のに向けた
指者の資向上をるを進す

2023（令和5）年12月に策定した「岩手県における 活 地域 ラ 活 の 方
 に関する方」（県の 活 地域 ラ 活 に関する方）に て 正な 活 の
 営を 進るとともに 地域 ラ 活 の 移行について 地域の実 に応じて 的に体
 の整備を進 す

地域 ラ 活 の指 者の確保 資 向上等に向けた を支援するとともに 市町村 地域
 スポーツ団体と連携し 地域 ラ 活 の 移行を進 す

市町村 合型 ラ スポーツ少年団等との連携に 子どもの成長過 に応じた多様な
 ・スポーツの体 機会の を 地域におけるスポーツ活 の充実に す
 スポーツ少年団活 について 指 者の育成 スポーツ ・ の の活用等を じ
 で 正し 楽しいスポーツ活 の環境を整えてい とともに 力 ラス ント等の 題
 が ない に す

育の

体力・ 力 の実施 に が現状と課題を 確に え 体力・
 力の向上に る目 を設定し 体育・保健体育 業の ・充実を る とに て 「
 ・技」 「考力・ 力・ 現力等」 「 に向 力 人間性等」を ランス
 育成し す

生 一人 と の い生活の確 を目指し の 者が連携して 体で
 生活 を に関連付けた一体的な 「60（ ） ラス
 ジ ト」を推進し す

における体育・保健体育 業を じ 体力 技 の 度 年齢 性別 障がいの
 等に関わ スポーツの多様な楽し 方を共 する とがで る 指 の充実を
 す

生 がスポーツの意義 価 を スポーツ の ・関 を高 るた リン
 アン・ ラリン アンを するなど リン ・ ラリン 育を推進し
 す

活 の

主的・ 発的な参加に 行わ る 活 の趣旨を えなが 活 営のた
 の体 整備 合理的で つ 的・ 的な 活 の推進に 生涯にわた スポーツに
 しむ基 を進 す

スポーツ ・ の観 に した指 方 の 体 等の に向けた 会を開
 する 活 指 員の 置を進 る とに 活 における指 者の指 力向
 上 指 体 の充実を す

た 活 の い等について「岩手県における 活 たな地域 ラ 活
 の 方に関する方」に定 ている「活 連 会」の開 等に 職員 保
 者 外 指 者等が共 理 を る に け す

地域の実 に応じて 地域のスポーツ団体 合型 ラ スポーツ少年団等と連携し
 生 のスポーツ環境の充実を す

「岩手県における 活 たな地域 ラ 活 の 方に関する方 」に基
 に 活 の 日 活 間が設定さる 活 を する活 (会
 等)を た活 実 を しなが 保 者 地域等が一体とな た を推進し
 す
 地域 ラ 活 の移行について 日における地域の環境の整備を 実に進
 す 日における環境整備について であると む とが考え 地域の実
 に応じた 日における の進 状況等を しなが 推進し す
 直 に地域 ラ 活 の体 を整備する とが な場合に 活 の地域連携と
 して 要に応じて 方 にる合 活 を 入するなど の生 数 少等の課題
 を え 生 の 一 に応える 活 の環境整備を進 るた の を推進し す

地域 け のスポーツ 会の

団 人岩手県体育 会 (県体) 市町村と連携し 合型 ラ スポーツ少年団
 等の活 に関する を 発し 子どもた が の成長過 において楽し る多
 様な スポーツの経 を し 子どものスポーツ活 の充実と定 を す
 地域 等と連携し 子どもの の定 化に向けた を 展開し す
 ト ・ スポーツ ー と連携し スポーツ の開 の応援等 子どもとト
 アスリートとの を し スポーツの楽しさを体 する機会を拡充し す
 活 の地域 ラ 活 の移行に 入体 の整備を るた 地域 ラ 活 の
 指 者 の資 支援 地域スポーツ に関わる内 についての ス の の
 た の 会の実施に 指 者の確保 資 向上等に向けた を支援し す
 市町村 地域スポーツ団体と連携し 日における地域の環境の整備を 実に進 なが
 活 の地域 ラ 活 の移行を推進し す
 スポーツ少年団活 について 県体 岩手県スポーツ少年団と連携し スタート ー (ス
 ポーツ少年団) 成 会 岩手県スポーツ少年団指 者 会等を し で 正し
 楽しいスポーツ活 の環境 を 進し す た スポーツ少年団指 者 議会 競技団
 体事 長会議を し カ ラス ント等の を す

用

- 1 全国 ・
 国が 国的な 生 の体力の状況を ・ する とに 生 の体力の向上に る施策の成 と
 課題を し の を る とを目的として実施する
- 2 計
 体力・ 力を評価する 体力テスト (8 目)に 実施さ 目の を 化 (10 満)し
 合計した
- 3 健 計
 国が 保健 に 実施さる健康 の に基 等の発育状 (長 体) 健康状
 (・ 常の)を にする とを目的として実施する
- 4 国の イ イ
 「 活 たな地域 ラ 活 の 方等に関する 合的な イ ライン」として 少子化の でも
 にわた 生 がスポーツ・ 化 活 に して しむ とがで る機会を確保する とを目指し 生
 にと て 活 が しいスポーツ・ 化 環境となる 正な 営 的・ 的な活 の
 方について すとともに たな地域 ラ 活 を整備するた に 要な対応について 令和4年12月スポー
 ツ 化 さ たもの

コラム

国では、2023（ ） 、休日の部活動を 的に地域クラブ活動へ移行することを しました こ を け、県では、休日の部活動の 的な地域移行に向けて、202（ ） から デル事業を実施し、県内全域に成果を普及・発信しています

202（ ） は、 町の の中学 の クラブ（ フトテニス、バスケットボール、 ッ ー、 ）と岩手町の の中学 の1クラブ（町技である ッ ー）で実施しました

2022（ ） は、新たに大 市において、設 上部を めた クラブ（上競技、 、 、 バ ントン）で実施しました

こ らの デル事業では、中学 の部活動にはない競技や、 合 による活動な、中学生のニーズに応じた取組を進めて ました

2023（ ） は、 市町村（ 市、 市、大 市、 町、 村）で実施しており、 は、国の動向な 踏まえながら、部活動の地域移行を進めています

デル事業による休日の地域クラブ活動の様



バスケットボール（ 町） ッ ー（岩手町） （大 市）

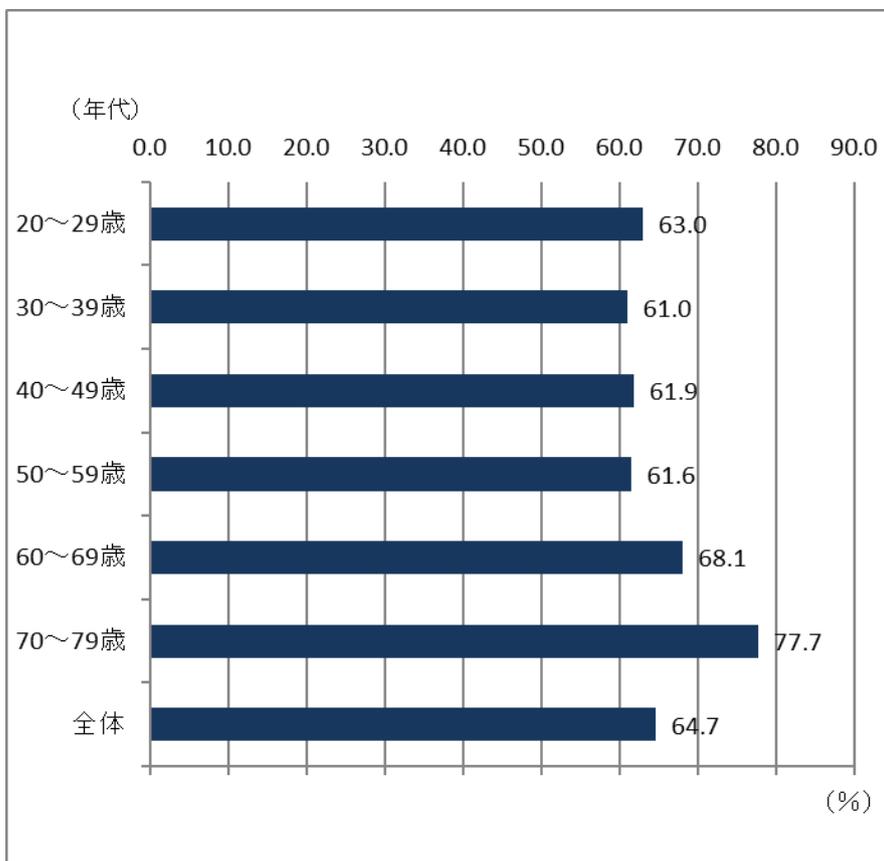


（大 市） バ ントン（大 市） 上競技（大 市）

(3)成 のスポーツ 会の

現 状 と 課 題

2022（令和4）年度のスポーツ に 1日 上スポーツをする者の割合 20
 53.5 30.5 7.4 40.5 10.0 50.5 17.0 と 高齢者 に て じて に 30
 も い状況とな てい す
 本県の 20 上 の 1 上 のスポーツ実施 20 63.0 30 61.0 40 61.8
 50 61.6 とな てお 国と 様 高齢者 に して な てい す
 国と県で 手 が なるた 一概に で せ が スポーツ 県 とも
 のスポーツ実施 が い 向で のスポーツ実施 の向上に向け
 た が 要です



岩手県 県民のスポーツ実施状況に関する 年度

令和 年度 健康経営に 的に む事業 等の 一定の 定基 を満たした
 事業 等を 事が 定する「いわて健康経営 定事業 」 度を 設し 令和5年度の 定事業
 数 591事業 とな てい す

た 本県 2018（ 成 30）年8月 岩手県 会議 連合会 民間事業者と「健康経営の
 推進に る連携 定」を し 業 団体等における健康経営の推進 県民の健康 の
 推進に関し 連携して てい す

2022（令和4）年度のスポーツ に 国の高齢者の 1日 上のスポーツ実施
60 が59.6 70 が71.7 とな てお 20 上の 1 上のスポーツ実施 の
でも高 な てい す

本県においても 県 に る高齢者の 1 上のスポーツ実施 60 が68.1 70
が77.7 と の年 のスポーツ実施 に て高 な てい す

本県で 1988（ 和63）年度 岩手県長寿社会健康と の つ（いわて
）を開 してお の スポーツ関連イ ントで る岩手県民長寿体育祭に 年度
3 人が参加し て 10 人を える高齢者が参加してい す

2022（令和4）年度の本県の高齢化（65 上の高齢者人口が 人口に る割合）34.8
と 国 29.1 を上 るとともに 高齢者 高齢 の が増加してい す 高
齢者が な地域でスポーツを じて健康でい い と過 せる スポーツ・レ リ ー
ン等を楽し る機会 の が 要です

の 方 性

の の確 ・定 に るスポーツ実施 の向上に向け 地域 職場が一
体とな の方 が な地域 場 で のライフスタイ に合わせて体を
す とがで る環境 に す

県民の健康増進を るた 関 団体等と連携し 「健康経営」等の を推進し す
高齢者が な地域で の健康状 に応じて体を し にスポーツを楽し る
市町村 合型 ラ 関 団体と連携し 高齢者の様 なスポーツ機会の に
す

高齢者が な地域で行わ ているスポーツ活 に参加する とに 社会とのつなが を
を えた がで る 地域におけるスポーツ・レ リ ー ン活 を 進し
す

のスポーツ 画 の大

市町村のスポーツ推進委員 業等と 機的な連携を 進 の の定 化
に向けた を 展開し す

関 団体等と連携し 一を共 で実施するなど健康経営の 発を るとともに
「いわて健康経営 定事業」の の 進 いわて健康経営ア ー を充実するなどイン ン
テ の拡充等に の生活 の を 的に推進し す

のスポーツ 画 会の

市町村 合型 ラ 等が開 する健康 会において アスレテ
トレー ー等に るスポーツ ・ の 見を活用した体力 定 健康 の指 等を
行い 高齢者の健康 の を支援し す

団 人い い 岩手支援 団（い い 団）が実施する 国健康 祭（
） の本県選手団の いわて の開 を支援し す

市町村 関 団体と連携し 高齢者のスポーツに対する意 を するとともに ー に
 応じたスポーツ 様 な が スポーツイ ントの開 等を 進する とに ス
 ポーツ・レ リ ー ンの に す

用

- 1 社会健康と の ()
 高齢者を とする県民の健康の保 増進と生 がいの高 を るた 県内 者を対 とし 活力と る
 おいに満 た長寿社会の 成に する とを目的として岩手県民長寿体育祭と岩手県民長寿 化祭で 成さ
 る大会
- 2 全国健康 ()
 スポーツ 化 目の 大会を 健康 に関する多 なイ ントを じ 高齢者を とする国民
 の健康保 ・増進 社会参加 生 がいの高 を いと活力 る長寿社会の 成に する とを目的
 とした大会

(4)スポーツ の ・ 育成

現 状 と 課 題

本県に 2023（令和5）年4月現 市町村 委 を けた630人 のスポーツ推進委員が お スポーツ推進のた の事業実施に る連 整 民に対するスポーツの実技の指 等を 行 てい す た でに 設さ た57の 合型 ラ のスタ フ 日本スポーツ少年団 の 資 指 者3 000人 が 子ども 高齢者 で のライフステージに 応じた地域 民のスポーツ活 を ポートしてい す

「日本スポーツ スター 2022岩手大会」「いわて 国体」の開 「一 ー ス ー ラ 」で ーに 大会 を した本県 の大 選手を じ 選手 ス ージ ン の 選手 ス ー ー の岩 楽選手の活躍な どに 県民のスポーツに対する関 が高 た と等 「県民のスポーツ実施状況に関 する 」における20 上の 1 上のスポーツ実施 高い に す の な 民のスポーツに対する ー も 性別 年齢 地域に ても なるなど 多様化する 向に る と した ー に対応し地域のスポーツを支える人材の育成が て い す

2016（ 成28）年に本県で開 した「 いわて国体・いわて大会」で 県内の大 生 生等多数の ランテ アが活躍し した のレ ーが さ ラ ー ー 2019岩手・ 開 日本スポーツ スター 2022岩手大会等で 多 の ランテ アが大会 営に カするなど スポーツを「ささえる」人材が育 て てい す

本県で いわてスポーツ ン¹を とした地域 ン 市町村のスポーツ 大会等の 活 に も大規 な大会の開 が見込 ている と で 成 したスポーツ ランテ アを活用する 要が す た 2022（令和4）年度の 団 人 スポーツ 団「スポーツライフ・ ータ2022」の で スポーツ ランテ アの実施 が い（4 2 ）とい が てお スポーツ ランテ アに活 の場を す るなどの支援も 要です

スポーツを じた地域活性化等の を一 的に推進するた 民一体に るスポーツ 推進体 「いわてスポーツ ラ トフ ー 」²を設置してお の意見等を なが 県 体 スポ 事業団 市町村体 等のスポーツ団体 業 競技団体等と連携した を推進 する 要が す

スポーツ基本 で スポーツ団体の カとして 「スポーツの のた の事業を 正に行 た の 営の 性の確保を るとともに の事業活 に関し が す 基を 成する る」 ととさ てい す

本県で 県体 を じ として スポ 事業団 市町村体 競技団体 スポーツ少年団 合型 ラ 等が 地域のスポーツ活 を支えてい す のスポーツ団体に 関 規 を した健 な 営を るた の ンスの 化 ン ライアンスの が てい す

岩手県 化スポーツ において 長年にわた て本県スポーツの ・ に カしたスポ ーツ指 者 競技者 スポーツ団体を してい す

一方 本県で アスリートの県内定 を 的に進 て た と アスリートを雇用し 競技活 を支える 業等が増えて た とを け スポーツ活 の推進に している 業等を してい す

の 方 性

子ども 高齢者 で 県民が な地域で の 向・レ に合わせて 様 なスポーツに する スポーツ推進委員 合型 ラ のスタ フ等 地域のスポーツ活を支える多様な人材の育成に する

スポーツ ランテ ア の参加を 進し 活 の場を するた に 域スポーツ ンター 関 機関・団体と連携し 大会 などを発 してい する

県体 スポ 事業団 市町村体 等のスポーツ団体 業 競技団体等の 民一体に する スポーツ推進体 「いわてスポーツ ラ トフ ー」の意見等を なが 関 者と連携し なが 地域活性化等に向けて する

スポーツ団体における 事等の 題発生を に た 関 機関 県体 等の関 団体と連携し スポーツ・インテ リテ (実性・健 性・高 性)³を高 るとともに スポー ツ団体の 営の 化を 進し する

本県のスポーツ に した県民 団体の を実施し する

地域スポーツ への 育成

市町村域において スポーツ 大会等 様 な事業の 画・ 営等を スポーツ推進委員の資 向上を るた 市町村 岩手県スポーツ推進委員 議会と連携し 会・大会の充実と の参加 の向上に する

域スポーツ ンター 市町村と連携し ラ 育成ア イ ーに する 合型 ラ の定期的な を じた 営指 ・ 言 ラ ジ ーを対 とした 会の実施等に イ に する 営 等を る とので る人材育成に する

県体 スポ 事業団 大 等と連携し 会の開 等に 地域で生涯スポーツの推進 高齢者の健康 等に む人材の育成を する

スポーツ の 成の 進

ト ・ スポーツ ー を じ とした関 団体等と連携した 会の開 等に スポーツ ランテ アの 成を する

岩手県 域スポーツ ンター 市町村 合型 ラ 等と連携し 会等で 成したスポーツ ランテ アの登録を 進 登録者 の大会 スポーツ ランテ ア を発 するなど スポーツ ランテ ア活 を推進し する

スポーツ の ・ の 化

「いわてスポーツ ラ トフ ー」の意見等を え 県体 スポ 事業団等と連携し なが 本県のスポーツ の を推進し する

団 人 社団 人等の 定を けているスポーツ団体について 社団 人 団 人の 定等に関する (成18年 第49)の基 に基 定期 入 定期 の確 等の指 を じて ン ライアンスの 性の高い 営が る の ンスの 化について指 に する

人 意団体など 人 外のスポーツ団体（競技団体 合型 ラ 等）につ
いて 県体 域スポーツ ンターと連携し 事 長会議等で ン ライアンスの
を るとともに 事 の 等を行 とに 関 規 理規定等を した
性の高い健 な 営を 進し す

スポーツ の の

岩手県 化スポーツ に スポーツの ・ に カし スポーツの に し
た指 者 団体など スポーツ関 者を し す
アスリートを用し 競技活 を し 地域のスポーツ活 を支えるなど アスリートの県
内定 に向けて 業等を対 とした を行い 業等のスポーツ活 の拡大を
す



いわて国体・いわて大会を契機に、スポーツを「支える」人材が育ってきており、ラグビーワールドカップ 2019 岩手・釜石開催でも大会ボランティアのほかに、独自ボランティア 414 グループ 28,829 人が大会を盛り上げました。

また、その後、県内で開催された日本スポーツマスタースターズ 2022 岩手大会・いわて八幡平白銀国体の大規模大会においても、延べ 400 人近いボランティアが大会を支えてくれました。



〈ラグビーワールドカップ 2019 岩手・釜石〉



〈いわて八幡平白銀国体〉

用

- 1 スポーツコ
スポーツ資 と観光資 を生 し スポーツ大会 スポーツ関連イ ント等の スポーツツーリ の推
進等を 民の関 機関・団体が一体とな て 人口の拡大等に る地域活性化を る
- 2 スポーツ
スポーツの力に る健康社会の実現と人的・経済的 を推進し 力 るスポーツの 県民が
日常的にスポーツに し 楽し な社会の実現を目指す とを目的とする 民一体に るスポーツ
の推進体
- 3 スポーツ・イ (r r)
「インテ リテ 」と 高 さ・位・ な状 を意 する言 スポーツにおける「インテ リテ 」
と 「スポーツが様 な に けると な 価 る高 な状 」を指し 長・
ンス カ ーン 等の様 な r r (スポーツにおける 実性・健 性・高
性)を る

(5) スポーツ の

現 状 と 課 題

国において 共施設等の 化対策が大 な課題とな てお 「経済 営と
の基本方 ～ フレ・経済 生～」(2013(成25)年6月14日 議 定)において「イ
ンフラの 化が に進展する し る と と の 化が
課題で る」とさ 「日本 」(2013(成25)年6月14日 議 定)
に基 2013(成25)年11月に「インフラ長寿 化基本計画」を策定し した

しい 状況が で 人口 少等に 共施設等の利用 要の 化が さ
る とを え に 共施設等の 体状況を し 計画的な 長寿 化 施設
置の 化に の ・ 化を るなど長期的な に た 共施設 ジ
ントの を推進する とが 要です

本県において 国が策定した「インフラ長寿 化基本計画」に基 行 計画として 2016
(成28)年3月に「岩手県 共施設等 合管理計画」を策定し 県 化スポーツ が 管す
る 共施設に る 体の対応方 を定 る計画として 2021(令和3)年2月に「岩手県 化
スポーツ 管 共施設 別施設計画」を策定し した

なお 2022(令和4)年7月の「岩手県 共施設等 合管理計画」の に 県 体で
共施設に る スト ・ の 化を るとともに 施設を 県民利
用施設などの 共施設の の見直しを進 る ととしている と 県営スポーツ施
設についても 別施設計画に基 様の を進 てい す

場について 別施設計画に基 県営 場と 市営 場の となる た
な 場を 市と共 で整備する とに 県・ 市 方の 場の 化に る 課
題の が 得 る とさ に が で整備する も高規 な施設整備が
となる となど 県営 場と 市営 場を 化する ととし 民間活力の 入
(方)に いわて ー ー を整備し 2023(令和5)年4月に 用開 し
した

いわて ー ー を 県営 県営体育館等8つの県営スポーツ施設
の多 が1970(和45)年に開 さ た岩手国体での 用を目的に整備さ た と 経
年とともに施設・設備の 化が進行してい すが 本県で 別施設計画等に基 利
用者の 確保を とした 管理を行 てい す

た 2022(令和4)年度における県営スポーツ施設の開場(開館)日に対する利用日数の
状況を した利用 県営 で84.4 県営体育館で98.2 等と ト アスリート
を じ スポーツ 者 地域 民などに 利用さ てい す

の な と 県営スポーツ施設について 利用 整会議の開 等に に利
用 整を行 利用状況を考 した施設の 要度 管理の スト 市町村施設との
割 を えなが な 管理 等を行 てい 要が す

た 2025(令和7)年度 の 別施設計画の策定に向け 2023(令和5)年度に 日本
大 の で整備を しているスポーツ ・ ンター 多目的 内 施設を
む県営スポーツ施設の の 方について 者 意見をいた なが 合的な
を行い した

一方 県内の スポーツ(社会体育)施設 1,000施設を えてお 地域のスポーツ
活 の として 民に利用さ てい す の に 1999(成11)年のインター
イ等を 機に高規 な施設として整備さ たものも すが 県施設と 様に 化が進

でいると も す さ に 県内に スポーツ活 を行 とがで る な 環
境も数多 る と 県 体として のスポーツ資 の一 の活用が てい
す

県営スポーツ施設の 付について で 指定管理者が に ステ し対
応して したが 利用者がス ートフ ンで 支 い で 得 る 一的な
ステ を整備する とに 利用者の利 性の向上を 施設の利用拡大につな る と
が 要です

県内における 体育施設（体育館）の開 高合わせて350 の で実施さ てい
すが 地域 民の なスポーツ活 の場として なる 開 の が 要です

(位 施設)

施設	施設数
場 (外で を行 た の 上競技場 技場 (一 場など) 場で 地 10 000 を とするもの)	170
場 (高齢者向け スポーツ (ート ー ラウン ・ フ等) が行える多目的 場で 1 000 を とするもの)	66
ート (外のテ ス ート レー ー ート ス ト ー ート)	86
場	71
体育館	229
ー	46
道場	36
道場	14
場	20
体育施設開 施設 外 の るもの	126
体育施設開 施設 ラ ウス	19
体力つ ース (歩 と 場を 合わせた 外での 体活 の場)	27
ス ー場	16
ス ート場	6
場	1
イ リン ース	9
場 ト場	7
ン 場	66
イ ン ース	87
場	3
合 計	1 105

岩手県 スポーツ 社会体育) 施設現況 2022 年度

の 方 性

県営スポーツ施設について 岩手県 共施設等 合管理計画に基 別施設計画に
 長寿 化等の計画の 実な推進を るとともに 県民 一 市町村施設との 割 し
 い 状況を え 県として 要な整備を し す
 地域のスポーツ活 の環境について 市町村等と連携し 市町村が するスポーツ施設の
 活用を 進するとともに 環境を生 した たなスポーツ資 の利用 進等に
 す
 スポーツ施設の利用 進を るた 県が 一的な県営スポーツ施設の ステ を整
 備・ 入するとともに 市町村とも連携し 一 ステ を利用する参加施設を拡大する と
 に なる利用者の利 性向上と施設の利用拡大を す
 市町村 等と連携し なる 体育施設の開 に す

スポーツ のス の 化

多 の県民に利用さ ている県営スポーツ施設について 別施設計画に基 計画的
 な 管理 等を行い 利用者が してスポーツを楽しむ環境の整備を進
 す
 スポーツ ・ ンター 多目的 内 施設を む県営スポーツ施設の の
 方に関する を えて 2025（令和7）年度 の 別施設計画を策定し の
 化に合わせた施設保 の 化と県営スポーツ施設の計画的な 管理・長寿 化を推進
 する ととし す

地域スポーツ の 活 ・ 進

市町村のスポーツ施設を じ としたスポーツ資 について いわてスポーツ
 ンの イト等で 発 する とに の利用 進を す
 スポーツツーリ を拡充するた 本県の な 地域の を生 したスポー
 ツア テ テ について 市町村と連携しながら いわてスポーツ ンの
 イト等に を進 活用・利用 進に す
 県営スポーツ施設における 環境の整備等に ・ 等の 技 の
 活用等に るスポーツ を す
 2023（令和5）年度に岩手県 化・スポーツ施設 ステ を 入・ した と
 ステ の を の利用 進を す た 県内市町村に ステ の
 入を け 利用 な施設数の拡大に す
 体育施設の開 に スポーツ少年団 合型 ラ 等 地域 民の利用を に推
 進し す

コラム

〇(4) に 市 ツ に整備した県営 は、プロ 公 や高岩手大会の 等が開催さ、長、 関 者や県民に しま ていた でしたしかし、スタンの 化や 間の の な、 化が しく進んでおり、に 策を じる がありました

方、 市において、 市営 の 化及び人 の中での公共施設の保 適化とい 共 の を えていたことから、県と 市は、スポーツ施設としては全国 となる県と市の共 により、新しい の整備を行 こととしました

新しい は、 公 内に「いわて ボールパーク」として、2023 ()

1日に開業しましたプロ 公 な が開催で る高規 な としての機 の なら、多 的に利用で る内 習 やキッズスタジアム、ランニングコース等を 体的に整備した か、いわて の の や本県 かりの選手の ニフォーム等を するコーナーを設 しています

本施設は、 行 が整備する 合と して、用 効果や の 化、民間 の活用な の リットから、 方 を 用 し、設計、施 及び 間の運営・維持管理を 体 として、県から管理の事 委 を けた 市が 業者と事業契約しており、 事業者が指定管理者と して運営を行っています

、「いわて ボールパーク」が、スポーツ に し ながらあら る人が まる交流拠点となる よ、 市と連携しながら、スポーツによる交流人 の拡大を っています



いわて ボールパーク

用

1 スポーツツ

スポーツを目的とした 行 のものに加え 多目的な 行者に対する 行 の地域でも主体的にスポーツに しむ とので る環境を整備し 国際競技大会の ・開 合 等を した 合的で でに ない「 な 行スタイ の 」を目指すもの

2 社会型スポーツの 進

白 じ 擴	體
-----------------	---

	現状	年				計画
	2 22 (4)	2 24 (6)	2 25 ()	2 2 ()	2 2 ()	2 2 (1)
規						

【目標値の考え方】

障がい者が身近な地域でスポーツに親しむ環境を整えるため、障がい者のスポーツ教室や大会に障がいの有無にかかわらず、多くの県民が参加することを目指し、障がい者スポーツの教室・大会に参加する障がいのある人もない人も含めた人数（役員、ボランティア等を含む。）を指標として設定します。2021（令和3）年度の増加実績値2,450人を基準に、単年度増加幅を毎年60人とし、2019（令和元）年度から2028（令和10）年度までの累計数25,170人の参加を目指します。

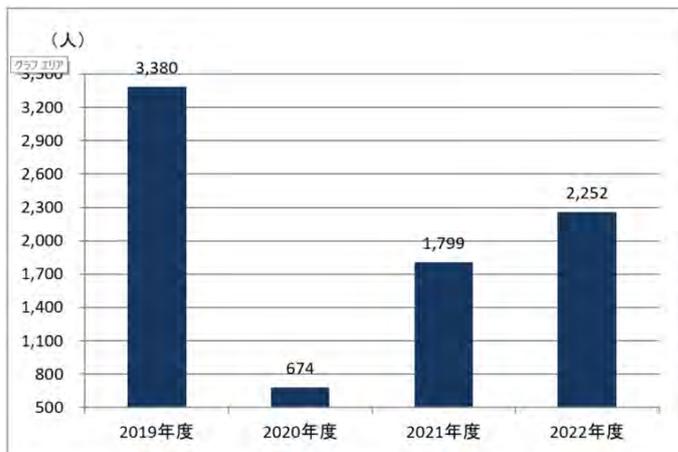
(1) スポーツ の 進

現 状 と 課 題

- 国の2021（令和3）年度の「地域における障害者スポーツ普及促進事業（障害者のスポーツ参加促進に関する調査研究）」報告書によれば、2021（令和3）年度の障がい者の週1回のスポーツ実施率は、20歳以上が31.0%となっています。国においては、「第3期スポーツ基本計画」において、2026（令和8）年までに週1回以上のスポーツ実施率を40%程度とすることを目標としています。
- 特別支援学校では、体育の授業等により運動やスポーツに取り組んでいますが、学習指導要領（小学部・中学部：2017（平成29）年4月告示、高等部：2019（平成31）年2月告示）において、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現・継続するための資質や能力の育成が求められていることから、今後は更に、運動の楽しさを味わうことや体力の向上等が図られるよう、取組を進めていく必要があります。
- 本県では、障がい者が自らの障がいの種類や程度に応じて、様々なスポーツに気軽に取り組むことができるよう、一般社団法人岩手県障がい者スポーツ協会（県障スポ協会）や関係機関・団体等と連携し、ボッチャ、グラウンド・ゴルフ等15のスポーツ教室や、フライングディスク・卓球バレーの大会、岩手県障がい者スポーツ大会（県スポ大会）等を開催しています。また、県障スポ協会においても、卓球バレー交流大会をはじめ各種スポーツイベント等を独自で開催しています。
- このように障がい者を対象とした様々なスポーツイベント等は実施されているものの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、各種大会等の中止・規模の縮小により参加者が減少していることから、参加者の増加に向けた取組が必要です。
- 東京パラリンピックの開催による「インクルーシブ（共生社会型）スポーツ」への関心の高まりを受け、障がいのある人もない人も、身近な地域でスポーツを共に楽しむ機会の創出が必要で

す。

- 県民一人ひとりが年齢や身体能力、障がいの有無に関わらずスポーツに取り組めるよう「超人スポーツ」の創出、普及に取り組みました。今後は、超人スポーツのほかインクルーシブスポーツ等、多様なスポーツへの参画機会を広げていくことが必要です。



出典 | 岩手県 | スポーツ振興課調査 | 年度～ 年度

- 公益財団法人日本パラスポーツ協会公認パラスポーツ指導員（公認パラスポーツ指導員）は、全国に26,500人余、本県においては、260人余が登録されていますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、既存登録者の登録未更新や、指導員養成講習会への参加者の減少など、公認パラスポーツ指導員の増加に繋がっておらず、スポーツの喜びや楽しさを伝えるため、更なる指導員の確保のほか養成・資質の向上が求められています。

(単位：人)

	2022年度
初級パラスポーツ指導員	179
中級パラスポーツ指導員	79
上級パラスポーツ指導員	7
合計	265

出典 | (公財) 日本パラスポーツ協会 | 各都道府県・指定都市別・ブロック別公認指導者登録者数 | 年度

- 障がい者スポーツ団体が県域・市町村で各1団体設立されているところですが、障がい者スポーツの一層の推進を図るためには、新たな支援組織団体の設立など、地域における体制整備の促進が必要です。
- 県内には、公立スポーツ（社会体育）施設は1,000施設以上あり、障がい者が身近な地域でスポーツを楽しむために、施設のバリアフリー化・ユニバーサルデザイン化が求められていますが、特にバリアフリー整備が必要な特定公共的施設の新築時における整備基準の適合率は、2022（令和4）年度、65.9%となっており、必ずしも充分ではありません。

また、2022（令和4）年度の希望郷いわてモニター調査によると、公共的施設などにバリア（障壁）を感じる割合は「よくある」「たまにある」が約75.2%、「スポーツ施設」についてバリア

を感じる割合は約31.1%となっていることから、引き続きユニバーサルデザイン化に向けて取組を進めていくことが必要です。

の 方 性

- 障がい者が、身近な地域で自らの興味・関心、適性等に応じて日常的にスポーツを楽しむことができるよう、市町村や関係団体等との更なる連携により、障がい者のスポーツ参画機会の充実を図ります。
- 障がいのある児童生徒がスポーツの楽しさを実感し、特別支援学校等に在学中に運動習慣の定着化を図られるよう、特別支援学校等における運動・スポーツ教育を推進します。
- 県民の障がい者スポーツに対する理解が深まるよう、障がいのある人もない人も共にスポーツを楽しみ、交流を図る機会を拡充します。
- 年齢や身体能力、障がいの有無等に関わらず、県民一人ひとりがスポーツに取り組めるよう、多様なスポーツへの参画機会の拡大に向けた取組を推進します。
- 障がい者が身近な地域でスポーツを楽しむことができるよう、市町村や関係機関・団体と連携し、公認パラスポーツ指導者の養成・確保を促進します。
- 地域において障がい者のスポーツ活動を推進するため、市町村や関係団体と連携し、地域における支援体制の整備に向けた取組を支援します。
- 障がい者が身近な地域でスポーツを楽しむ環境づくりを推進するため、市町村や関係機関等と連携し、公立スポーツ（社会体育）施設のバリアフリー化やユニバーサルデザイン化、スポーツ資源としての特別支援学校の活用等障がい者が利用しやすい環境の整備に向けた取組を促進します。

のスポーツ のスポーツの 画 会 の

- 市町村や県障スポ協会、競技団体、関係機関・団体等と連携し、障がい者の興味・関心、適性等に応じ、県スポ大会、各種スポーツ教室等を開催するとともに、全国障害者スポーツ大会（全スポ大会）に選手を派遣するなど、障がい者のスポーツ参画や健康の保持、体力増進、社会参加の促進に取り組みます。
- 小中高等学校、特別支援学校等における運動・スポーツを推進し、学校卒業後も運動やスポーツに親しむことができるよう、教員の資質向上、体育の授業改善等を図り、障がいのある児童生徒の運動習慣の定着化に取り組みます。
- 障がい者スポーツの理解・参加促進に向け、障がいのある人もない人も共に参加するインクルーシブスポーツの機会創出の取組や、スポーツイベント、スポーツ体験会、レクリエーション活動等を拡充するとともに、県民体育大会等の各種大会において、障がいのある人の競技への参加や、障がい者スポーツの観戦機会の拡大等に取り組みます。
- 県民一人ひとりがスポーツに楽しむ機会を拡充するため、スポーツをめぐる新しい動向等を踏まえながら、多様なスポーツ（超人スポーツ、eスポーツ 等）への参画の可能性を研究していきます。

スポーツ の

- 市町村の職員やスポーツ推進委員、総合型クラブのスタッフ、医療・福祉関係者等を対象とした公認パラスポーツ指導員の養成研修を実施するなど、地域で障がい者スポーツを支える人材の養成・確保に取り組みます。
 - 障がい者スポーツ団体の組織体制や事業執行に対する指導・助言等を通じ、円滑な運営の支援に取り組むとともに、市町村や県障スポ協会等の関係団体と連携し、地域における支援体制の整備に向けた取組に対して、必要な情報提供や助言等の支援を行います。
 - 市町村や関係機関等と連携し、スポーツ施設のバリアフリー化・ユニバーサルデザイン化に向け、県ホームページ等での広報活動やセミナー開催等により、ユニバーサルデザインの考え方の普及や意識啓発、関連する基準や先進事例の情報提供に取り組むとともに、民間スポーツ施設のバリアフリー改修等を進めるため、県の融資制度である「ひとにやさしいまちづくり推進資金」貸付制度の利用促進などにより、障がい者が利用しやすい環境の整備の促進を図ります。
- また、民間事業者の助成金を活用した障がい者スポーツ用具の配備等により、障がい者のスポーツ施設の利用を促進します。
- 障がい者が身近な地域でスポーツに親しむ環境として、特別支援学校の役割は大きいことから、特別支援学校の体育施設開放を推進し、在校生・卒業生・地域住民がスポーツに親しむよう取り組みます。

コラム No.7

岩手県障がい者スポーツ大会は、障がい者が自らの可能性を見出すとともに、県民の障がい及び障がい者に対する理解を促進し、自立と社会参加を推進するため、毎年6月に開催している県内最大のスポーツ大会です。

2004（平成16）年の第6回大会から、障がい者との交流を通じ、福祉への理解促進を図る取組として、一般の県民にもココパト（「ところをつなぐパートナー」の略）というボランティアの参加を呼び掛けています。ボランティアは、競技のサポートだけでなく、選手に声掛けをするなど精神的なサポートも行い、大会の盛り上げに貢献しています。新型コロナウイルス感染症により、2020

（令和2）年以降、大会の中止や縮小を余儀なくされたものの、2023（令和5）年開催の第25回大会では、約900名の選手と約180名のココパト及びメイト（医療・福祉系専門学生）約160名が参加するなど、参加者数が戻りつつあります。



岩手県障がい者スポーツ大会シンボルマーク

コラム
No.8

県では、ボッチャと卓球バレーを通じて、障がいのある人もない人も、地域でスポーツ活動に親しみ、インクルーシブ（共生社会型）スポーツを継続して楽しむことができる機会を充実させるため、インクルーシブスポーツ推進事業を実施しています。

体験教室や練習会、交流大会を継続的に実施することで、インクルーシブスポーツに取り組む機会が創出され、参加者のスポーツ実施への関心が高まることが期待されます。

また、交流大会を目指した練習に取り組むことで、参加者のモチベーションの向上につながり、大会後も「またやろう」「もっとやりたい」「次はこれをやりたい」といった機運の醸成も期待されます。



ボッチャ交流大会（盛岡市）



卓球バレー交流大会（久慈市）

<用語解説>

1 スポーツ

人間の身体能力を補い・拡張する人間拡張工学に基づき、人の身体能力を超える力を身に付け「人を超える」、あるいは、年齢や障がいなどの身体差により生じる「人と人のバリアを超える」ような、テクノロジーを自在に乗りこなし、競い合う「人機一体」の新たなスポーツ。

2 日本 スポーツ 会 スポーツ

（公財）日本パラスポーツ協会が公認する資格で、障がい者がスポーツを楽しむことができるように指導する者。知識や経験によって、初級、中級、上級の3段階がある。

3

障がい者や高齢者が生活していく際の障害を取り除き、誰もが暮らしやすい社会環境を整備するという考え方。

4 ルーイ

年齢や性別、能力などに関わらず、できる限り、全ての人が利用できるように製品、建物、空間をデザインしようとする考え方。

5 定

ひとにやさしいまちづくり条例に基づく公共的施設のうち、特にバリアフリー整備が必要な体育館、駐車場、公園等、県の規則で定める施設。

6 全国 スポーツ大会

障がいのある選手が、競技を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障がいに対する理解を深め、障がい者の社会参加の推進に寄与することを目的とした大会。

スポーツ

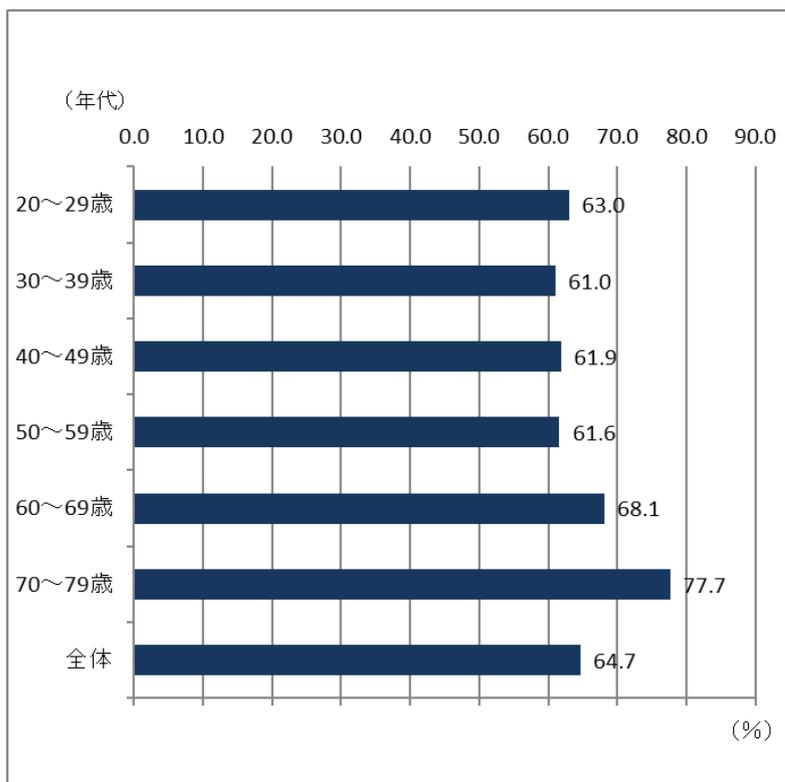
スポーツ全の
コ
・スポーツ（ r r ）の 義
コ - - - -
スポーツ と え

(2) スポーツの進

現状と課題

2022（令和4）年度のスポーツに 国の高齢者の 1日 上のスポーツ実施
60 が59.6 70 が71.7 とな てお 20 上の 1 上のスポーツ実施 の で
も高 な てい す （ 23 ）

本県においても 県 に る高齢者の 1 上のスポーツ実施 60 が68.1 70
が77.7 と の年 のスポーツ実施 に て高 な てい す （ 23 ）



岩手県 県民のスポーツ実施状況に関する 年度

本県で 1988（平成30）年度 岩手県長寿社会健康と の つ（いわて
）を開 してお の スポーツ関連イ ントで る岩手県民長寿体育祭に 年度 3
人が参加し で 10 人を える高齢者が参加してい す （ 23 ）

2022（令和4）年度の本県の高齢化（65 上の高齢者人口が 人口に る割合）34.8
と 国 29.1 を上 るとともに 高齢者 高齢 の が増加してい す 高
齢者が な地域でスポーツを じて健康でい い と過 せる スポーツ・レ リ ー
ン等を楽し る機会のが 要です （ 23 ）

本県で 県民の 状況 歩行数 等の実 を行 た 保健 を じて
県民生活 実 を定期的 to 実施してい す （ 11 ）

肥満者（M 体 長 2が25 上）の割合について 2016（平成28）年度と2022（令
和4）年度を すると 40 60 女性で 26.2 21.8 と4.4ポイント 少して
お 目 （26.0）に したものの 20 60 性で 40.0 36.9 と 少し

したが目 (300) にしていない状況です (11)

た日常生活における歩行数 2016(成28)年度と2022(令和4)年度をすると
20~64 65上の女性 少 20~64 65上の性 増加していすが
い も の目 に 2000歩 ない状 です (12)

本県の健康課題でる健康寿の生活のにおいて生活のも要
要でるとして肥満者少のたのな生活リスのた
の歩行をとした増加の要性について発をるとともに県民が健康増進に
すい環境の整備が要です (12)

県内に 団人健康・体力 事業団(健康・体力 事業団)登録の健康
指健康実指者が 130人お 県民の健康のポートを
ていす (12)

日本大に多の体育施設がをけるなどスポーツ活の場がわ
の民にる体力等の健康題がさたと2013(成25)年度
2016(成28)年度でアスレテトレー一等が設等を訪し
スポーツ・のを見を活用して健康体力向上の指にした (12)

2017(成29)年度対を県に拡大し 県民の健康増進を推進するた 市町村
業等と連携し アスレテトレー一等にるスポーツ・のを見
を活用した健康体力向上等の指を行い 県民の健康のを支援していす (12)

もスポーツ・のを見を活用しに日常生活を過すたの正しい
ランスにした生活体力向上等 県民の健康増進のに対するポートが要
です (12)

たスポーツ・に基 県民の健康を推進するた スポーツータを活用
した的支援がでるのを行 要がす (12)

2020(令和2)年度型 ウイスの拡大にるしい生活様
のもとでるラののた 岩手県画ン ()
にて「レツトレ」の画をしていす (12)

の方 性

高齢者がな地域で の健康状 に応じて体をし にスポーツを楽しむ
市町村 合型ラ 関 団体と連携し 高齢者の様 なスポーツ機会の に
す (23)

高齢者がな地域で行わ ているスポーツ活 に参加する とに 社会とのつながを
をえた がでる 地域におけるスポーツ・レリ ー ン活 を進し
す (23)

県民の健康増進の推進に関する施策についての基本的な計画でる「健康いわて21ラン(第
3次)」に基 関 機関・団体と連携し 県民の等の生活の にす
(23)

地域で県民がにでる指する健康指 健康実指者の育成資
向上をす (23)

スポーツ・の 見を生 しながら ラ 画「レ ッ トレ」
 健康ア リ などを活用して 子ども 高齢者 で い年 の健康 と体力の向
 上に むとともに 健康増進に たすスポーツの 用等の 的な 発 に
 す (12)
 スポーツ・の 見に基 県民の健康増進を 的に支援するた の に
 す



のスポーツ 画 会の ()
 市町村 合型 ラ 等が開 する健康 会において アスレテ
 トレー ー等に るスポーツ・の 見を活用した体力 定 健康 の指 等を
 行い 高齢者の健康 の を支援し す
 団 人い い 岩手支援 団(い い 団)が実施する 国健康 祭()
) 2 の本県選手団の いわて の開 を支援し す
 市町村 関 団体と連携し 高齢者のスポーツに対する意 を するとともに ー に
 応じたスポーツ 様な が スポーツイ ントの開 等を 進する とに ス
 ポーツ・レ リ ー ンの に す

スポーツ 健康増進 ()
 県民の 等の生活 の のた 市町村のスポーツ推進委員 業等と 機
 的な連携を進 の定 化に向けた を 展開し す
 健康 指 健康 実 指 者等を対 とした 会の開 に 地域におけるス
 ポーツを じた健康 の指 者の育成 資 向上を す
 市町村 合型 ラ 等の要 に応じ 地域の子どものスポーツ障 の 高齢者の健康
 増進に向け アスレテ トレー ー等に るスポーツ・の 見を生 し
 た体力 定 トレー ン 指 ・ 指 等の 会の実施に 子ども 高齢者 で
 い年 の健康 と体力向上の を支援し す
 多様なスポーツ ータを活用し い年 の健康増進を るた の ラ の
 に 付けるた の に す
 「レ ッ トレ」 健康管理ア リ などを活用しながら い年 を対
 とした健康 発 等に す

コラム
No.

岩手県長寿健康と福祉のまつりで
行われる岩手県民長寿体育祭

県で、体 して、か 12 にか て県内の体育 を
会 に岩手県 体育 を開催していま 。
の ・、きがいの をる を に 開催され
る 国 り ッ のも て われる の体育
、 、 ボール、テ ス、 の 1 が われま 。
国大会 の を 、 をしに る で、
会 、スポーツをし のさ のたくさ の で れていま 。
後も のスポーツ大会 の開催を 、 でか まで を
えて もに支え 会を るた 、 スポーツの にり でい
きま 。



スポーツ 大会 ボール大会・ - ボール大会

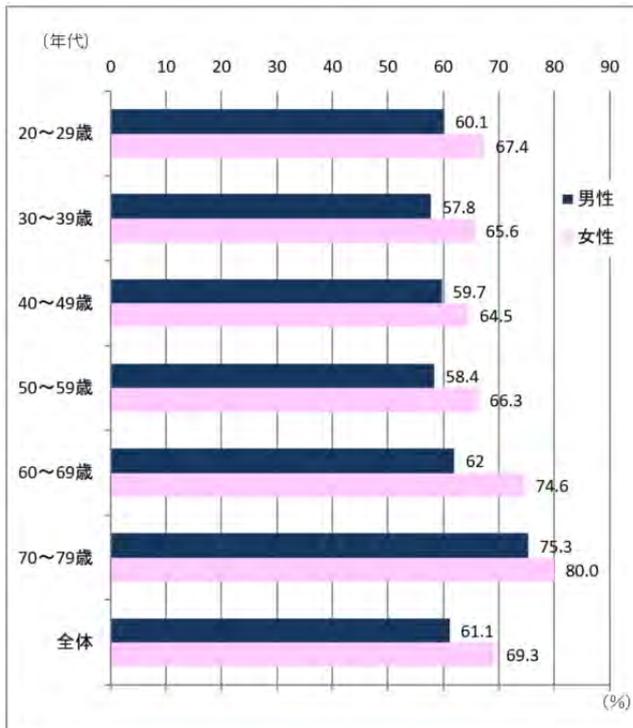


スポーツ 大会 大会 れ いスポーツ 大会

(3)スポーツ け 性の活 進

現 状 と 課 題

2022（令和4）年度のスポーツ に 1日 上スポーツをする者の割合 性
 54.4% 女性が50.2%と女性が 性 も4.2% に40% 女性の が目 いてい す
 本県の女性の 1 上のスポーツ実施 20% 女性が67.4%（ 性60.1%） 30% 女性
 65.6%（ 性57.8%） 40% 女性64.5%（ 性59.7%）と 計画策定 と して上 向
 になるもの 60% 上の年 と し ・子育て の20% 50%について い
 向に る と スポーツ実施 を高 いてい とが いてい す



岩手県 県民のスポーツ実施状況に関する 年度

リン 競技会における日本選手団に る女性選手の割合 2021（令和3）年の第32
 リン 競技大会（ リン ）で 47.5% 2022（令和4）年の第24 リン
 競技大会（ リン ）で 60.5% とな てお においても女
 性選手が 性選手を上 る活躍を せてい す

本県で 2016（ 成28）年に開 した いわて国体において 成 過 高
 となる第2位とな した た ジ ア期 一 等国内外の大会で活躍してい
 る女性ト アスリートも 数お も女性アスリートの活躍が期 さ いてい す

国において 女性アスリートが活躍する一方で 「女性アスリートの 主 」 等の健康上
 の課題を の と ト アスリートの な 10%の女性アスリートにも多 が
 ると指 してい す

本県においても 外で な 成長期の女性アスリート も の と 女性 保 者 指
 者に対して正しい の 理 進を行 など 女性の健康 題に した対応が

てい す

団 人日本スポーツ 会 () の2022 (令和4) 年度の競技別の指 者資 を
 する スポーツ指 者の登録状況 国219 600人 の登録者の 女性の登録者
 47 000人 で 体の21 4 本県で 3 600人 の登録者の 女性の登録者 650人で 体
 の18 1 とな てい す

た な地域でスポーツの指 言を行 スポーツ推進委員について 2022 (令和4)
 年度 国で 48 700人 の推進委員の 女性 14 150人 で 体の 29 本県で 630
 人 の推進委員の 女性 200人 で 31 とな てい す

の 本県で 2022(令和4)年度の スポーツ ター 登録者78人の
 女性登録者 2人とな てい す スポーツ ターを むアスリート等の活 を支える
 ・ン ・ン 資 の保 者 134人い すが の 女性が10人
 と い も女性の割合 い状況です た 「アスレテ トレー ー・いわてアスレテ
 トレー ー」 146人の登録者の 女性 22人とい 状況です

女性の指 者 多様な 資 者がスポーツ活 に関わる とで 女性アスリートが える健康
 題の ポート 女性の ー ・意 に したスポーツ機会の 等 女性 の での対応
 が期 さ る と の 的な活用が てい す

本県で 利用 間に している スポーツ (社会体育) 施設 子育て の女性に し
 た ス ースを設置している 合型 ラ が すが の な対応 ー に て
 お 女性のスポーツ実施 を上 る一つの方策として 女性がスポーツをし すい環境の整備
 が てい す

の 方 性

女性のスポーツ実施 の向上に向け 市町村 合型 ラ 等と連携し 女性の ー 意
 に合 たスポーツを楽しむ機会 を てる の を進し す

女性アスリート等が健康的に活躍し けるた に 県体 関 団体と連携し 健康 題
 に対する正しい の 理 進に向けて支援し す

市町村 機関 関 団体等と連携し 県民 アスリートのスポーツ活 を支える女性の指
 者 多様な 資 者等の人材の 的な活用を 進し す

市町村 関 団体と連携し 女性が様 な でスポーツに参画で る 事 子育て等の
 女性のライフスタイ に応じた環境 を進 す

性のスポーツ 画 会の

女性が な地域で 年齢 ・関 に応じて 日常的にスポーツに てる機会の充
 実に向け 市町村 合型 ラ 等と連携し 女性 子育て に対応した 日・間
 のスポーツ の設定 子どもと一 に参加で る ラ 女性の ー に した健康・
 体力増進等の ラ の多様化を 進し す

県体 ー 社団 人岩手県 会 (県 会) ー 社団 人岩手県 会 (県
 会) ー 社団 人岩手県 会 (県 会) 等の関 団体と連携し 女性アスリー
 ト 指 者 保 者等を対 とした を実施し 女性アスリート等の健康 題に対する正し

い の と理 進の を進 す

た スポーツ ・ 的な 見を する に で る機会を するなど
女性アスリート等の活 を支援し す

性 スポーツ の

現 活 している女性指 者 指 者としての活躍が期 で る成人女性アスリート等
を対 とした 会を実施し 女性アスリート等の健康 題に対する正しい ー ン
技 の 等に向け 指 者の育成と資 向上に する

アスリートとして活躍した女性等が 指 者 スポーツ団体の 員として活躍で る
環境 を進 す

市町村と連携し 地域における女性のスポーツに対する ー ・意 に したスポーツ・レ
リ ー ン ラ を で る女性のスポーツ推進委員の登用を 進し す

本県の女性アスリートの活 の ポートを拡充するた 女性の「アスレテ トレ
ー・いわてアスレテ トレ ー」を し 女性アスリートのスポーツ ・ に基
支援を推進し す

県内外のスポーツ施設における 女性に対応した利用 間の設定 子育て の女性に
した ス ースの確保等の な 事 について を行 など 市町村 合
型 ラ 等と連携し 女性がスポーツ施設を利用し すい環境 を 進し す

コラム

アスレティックトレーナー（ ）は競技力向上には かせない であり、競
技団体から高いニーズがありますが、県内 住の が ら ていることから、理
学 等の国 資 取 者や競技 ポート経験者等を として、岩手県 で
「いわてアスレティックトレーナー（ ）」を養成し、 と せて競技団体の強
化 習会や大会等に派遣し、アスリートへの総合的 ポートにより競技力向上に
しています

また、競技団体から、女性アスリートに する 性トレーナーの ポート体制
の充実な のニーズがあり、2023（
） 事業登 ・

の 女性トレーナー 2 を 競技団
体に ・派遣しており、女性 の視
点による健康 等への ポートにより、
競技団体から「女性アスリートのパフ
ォ ンス向上に ながっている」と
を ています

競技力向上に向けた女性トレー
ナーの活躍が期 さ ます



用

- 1 性スーの
女性アスリートの選手生に大なるをすとして「障のにないー」「
月経」「し」が指さているのを置した場合等に競技生活のが
となるもる
- 2 日本スポーツ会スポーツ
()日本スポーツ会加団体等がスポーツ指者度に基づ資定する指者
- 3 スポーツー
スポーツのに化した健康管理の外についてのな施等を行
- 4 日本スポーツ会ル・コ
()日本スポーツ会が定するアスレトレーースポーツタースポーツンテス
トスポーツ等選手のンンに事する資

3 国 活 スポーツの 進

白	規	か
度	度	し

	現状	年				計画
	2 22 (4)	2 24 (6)	2 25 ()	2 2 ()	2 2 ()	2 2 (1)
白 白 規						
度 規						

【目標値の考え方】

オリンピック・パラリンピック等の国際大会で活躍する選手の 出に向けて、本県関係の日本選手数を指標として設定します。

2024 (令和6) 年度以 は、28 人 (2014 (平成26) 年～2021 (令和3) 年の日本 選出数の平値と 程度) の増加を目標とすることで、5年間累計で263人の 出を目指します。

本県競技力の 持・向上を図るため、国民体育大会をはじめとする全国大会での 競技団体数を目標として設定します。

2022 (令和4年) の国体 競技団体数20に、国体以 の全国大会で した競技団体10を加え、単年で30競技団体の を目指します。

(1) ス ー の ・育成

現 状 と 課 題

○ 国においては、2004 (平成16) 年から、独立行 法人日本スポーツ振興センター () 及び公益財団法人日本 リンピック委員会 () と連携し、 リンピック等での活 を 成目標とし、国際競技力を向上させるための事業として、タレント発 ・育成事業 を実施しています。この事業は、2023 (令和5) 年6月現在、全国の41都道府県47地域で取り組まれています。

本県では、 で活 するトッ アスリートとなる人材を発 ・育成することを目的に、2007 (平成19) 年から県内の小学生を対象とする発 ログラムと、認定された小学生・中学生にトレーニングや競技体験を行う育成 ログラムからなる「いわてスーパー ッ」の取組を進めています (全国で4 目の開)。これまでに、「いわてスーパー ッ」の修 生520人余を り出し、国際大会等に 57 のトッ アスリートを 出しています。京 リンピックでは、ス ージャン 競技において、全国のタレント発 ・育成事業で第1 となる金 リストを出しました。

今後とも、中 競技団体等と連携しながら、「いわてスーパー ッ」の取組を継続するとともに、発 ・育成 ログラムの改善に取り組む必要があります。

- 2021（令和3）年度に ッ 生全員にタブレット を貸与し、2022（令和4）年度から自 等の 地でも ログラム受講ができる オンライン ログラムを開 し利 性を図るとともに、 パー ナルトレーニング（ ッ に合ったトレーニング ニ ーの提供） フトを活用して、 ッ の身体能力及び自 理能力の向上につなげています。

（単位：人）

年度	2018	2019	2020	2021	2022
	17	17	29	30	38
	17	16	31	31	30
合計	34	33	60	61	68

2020年度修 生からは、 テゴリーが小学生と中学生に分かれたため、 人数が増えているもの。

（単位：人）

年度	2018	2019	2020	2021	2022
出場数	5	10	4	7	9

出典 | 岩手県 | スポーツ振興課調査 年度～ 年度

- 一方、近年、県内の中学校・高校に在 しながら、日本 として ールド ッ に参戦する ほか、 リンピックに出場するなど、国際大会で活 する 手トッ アスリートも育ってきてお り、 うした 手トッ アスリートが一人でも多く で活 するためのサポートが必要です。
- 日本 として国際大会で活 する本県 かりの選手については、2018（平成30）年度の30人 から2022（令和4）年度までに98人に増加し、 128人となっています。特にパラスポーツでは、 平 2018パラリンピック 競技大会に本県 かりの選手が 高数出場し、 京2022パラリ ンピックにも多くの選手が出場したほか、日本 高 のパラスポーツ大会であるジャパンパラ競 技大会にも多数出場するなどの成 につながっており、今後も更なる選手 化やパラアスリート の発 ・育成が必要です。

（単位：人）

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
本県関係選手の日本 選出数 (うちパラアスリート)	30 (3)	32 (4)	13 (0)	22 (5)	31 (2)

出典 | 岩手県 | スポーツ振興課調査 | 2018年度～2022年度

(単位：団体)

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
全国大会 競技団体数 累計	31	30	7	20	30

2020年度、2021年度は国体をはじめとする各種全国大会の中止、 期があった

出典 | 岩手県 | スポーツ振興課調査 | 2018年度～2022年度

- 本県では、2020（令和2）年度から、「岩手スポーツアスリート無 職業 」を（公財）岩手県体育協会に開設し、アスリートの県内 職支援に取り組み、2023（令和5）年までの4年間で、8人が県内 業等に 職しています。また、このうち4人のトッ アスリートが県内 業等の支援により競技に できる環境を て、 選手 等各種国際大会に日本 として出場しています。今後とも学生・社会人アスリートが、競技を継続できる環境の整備が必要です。
- 本県では、2006（平成18）年度から、岩手県スポーツ を実施し、国際大会や国体をはじめとする全国大会等において な成績を めたアスリートの 績を しており、2006（平成18）年度～2022（令和4）年度までの受 者は、 322 人・団体となっています。また、岩手県はばたき として1985年（ 和60）年度から本県の学校教育の一層の充実に資する の模 となる児童生徒等の行 や活動を しています。 のうち、スポーツ競技大会において な成 を げた、1985（ 和60）年度～2022（令和4）年度までの受 者は、 421 人・団体となっています。

の 方 性

- 「いわてスーパー ッ 」を本県のアスリート育成の先導的取組として位 づけ、 へつながる育成システムを 築し、タブレット を活用したトレーニング等を継続するとともに、国際大会で活 する 手トッ アスリートの活動を後 しし、 リンピック リストの 出を目指します。
- 国体に向けた選手 化は、本県のアスリート育成・ 化の基 であり、対象選手はもちろんのこと、ジ ニアを中心とした のアスリートの育成・ 化にも有 です。今後は国体をはじめとする各種全国大会での を目指し、各競技団体等との連携を 化し、アスリートの育成・ 化に取り組みます。
- パラアスリートの競技力向上を図ることができるよう、障がいの程度、興味・関心に合った競技選 の機会を設けるなど、 手アスリートの発 に取り組みます。
- アスリートが競技活動を継続できるよう、 業、関係機関、競技団体等との連携を 化し、職支援に取り組むとともに、 の活動をサポートする 業等の拡大に取り組みます。

ス ー の ・育成

- で活 が期 されるトッ アスリートを発 ・育成するために、県体協、県内競技団体、中 競技団体、 、 等と連携し、 れた運動能力を有する小学生を「いわてスーパ

「トッ」として認定し、県内各地で行う様々な競技の体験やタブレットを活用した新しいトレーニング等を通じて、パフォーマンスの向上を目指します。

また、様々な才能を発揮できる競技を始め、県内競技団体の強化習、中競技団体のトライアウト、「いわてスーパー トッ 発 ・育成事業」などを活用したアスリート育成パスウェイへの取組により、中期的な目標に立ったジュニア期からの競技力向上を推進します。

- 国際大会での実績がある選手トッ アスリートが リンピックでメダルを するため、県体協や競技団体と連携し、 世界 や ワールド トッ 戦等の レベルでの経験を 含む機会や、国内 での競技活動を支援します。
- レベルのトッ アスリートをジュニア期から育成するため、 リンピアン 出の実績と指導システムが 構築されている競技団体におけるジュニア選手育成の取組を支援します。

国 活 ス ー の育成

- 本県の競技力の 持 ・ 向上を図るため、各競技団体の選手やクラブの 強化の取組を支援し、 県やトッ チームとの対戦、 強化 習等の機会を確保するとともに、国内 での大会で活躍するトッ アスリートの 育成 や合 等の競技活動の支援に取り組みます。
- 公立高等学校のうち全国高等学校総合体育大会や国体で 好成績を めている学校を岩手県スポーツ特別 強化指定校 として指定し、本県の競技スポーツにおける高校生の選手 強化、競技力向上を推進します。
- パラアスリートの育成のため、県障スポ協と連携し、パラリンピック等国际大会の 種目に取り組む選手や、中 競技団体の 強化指定選手、全国大会への出場実績がある選手等をパラスポーツの 強化選手として指定し、大会出場や 参加等の活動を支援するとともに、 心 ・ 体力 定やスポーツ 養、スポーツ ンタル等のスポーツ医 ・ 学的な研修会等を通じ、有望選手の発 ・ 育成に取り組みます。

ス ー 活 の

- アスリートの県内定着を促進するため、学生アスリートや 職を希望するパラアスリートと県内 業が一 に会する 職 ッチングの機会の提供や、「岩手スポーツアスリート無 職業 」によるアスリートの県内 職を推進します。
- リンピックや ワールド トッ 等に日本 として出場するトッ アスリートを多数 出すため、 の競技活動をサポートする県内 業を開 するなど、競技に できる環境を整えます。

スポーツ の

- 岩手県 強化スポーツ により、国際的 には全国的な競技会等において、 好成績を げ、スポーツの振興に 好成績のあったアスリートやチームを します。
- アスリートの育成に資するため、岩手県スポーツ により、国際大会や国体をはじめとする全国大会等において 好成績を げ、県民に 高い希望と活力を与えることに 好成績のあったアスリートやチームを引き続き します。
- 岩手県はばたき により、スポーツ競技大会において 好成績を げ、本県の学校教育の一層の充実に資する の模 となる児童生徒等の行 や活動を します。

コラム
No.

ス ー



「いってスー ー ッ 」は、「岩手から世 」を に、スポーツで大きな や に を み うとしている岩手の どもた を ポートする事業で、 の を らいとして取り組んできています。

夏季 リン ッ 、冬季 リン ッ の 場を に、世 で活 するトッ スリートとなる を ・ します。

世 を すことのできる の高いスポーツを けていきます。

スポーツ の を通して世 に通じる「 間力」を みます。

事業内 としては、県内 のトッ コー の により、 ベルの高いト ーン を定期 に行うとともに、 に リン ッ 手を するなど、岩手から世 を す の高い の によるスポーツ体験を実施しています。

また、 、世 で活 するために なスポーツ やスポーツ 等に いて、ルフ ネット カを に け、トッ スリートからスポーツ 取り組む や に いての を通して、世 を す を高めています。

生の 手(1期生)は、 O リン ッ ス ー ン ール ルで ル、ラー ルで ルを 得しました。また、 団体のト ライト等、どもた の の にじた 種 の に てきたことにより、 大会に いて 生が ましい活 を ています。



ス ルス ール (力開 ラム)



体験ト ーン (ス ー ン 体験)

<用語解説>

1 ・育成

競技経験に関係なく れた 質を有するものを識別して育成する事業。

2

本県に 在する国公立及び 立学校に在学する児童生徒等及び児童生徒等で 成する団体を対象として、学校教育の一層の充実に資する の模 となる行 や活動を するもの。 分としては、善行 、 、力 があり、 のうち、スポーツ競技大会での な成 による は にあたる。スポーツ競技大会 けではなく、 化 活動の大会やコンクールでの な成 、人 助等や地道な 力により の模 となる行 や活動についても している。

3 スポーツ 化 定

本県の競技スポーツにおける高校生の選手 化、競技力向上を図るために指定された公立高校。

(2) え の育成

現 状 と 課 題

国において 指 現場に つ ての指 者が資 を する る とに 指 者の
を保 する を推進してお 関 団体と連携して指 者の 成を進 てい す
指 者 2022 (令和4) 年10月現 国で219 625人 本県において 3 636
人が登録さ の資 を生 して選手等の指 に た てい す の資 4年
とに登録 が 要なた 会 の参加等に の指 技 の 等の資 向
上を る とが てい す

ラスポーツ指 員 2023 (令和5) 年3月現 国で26 500人 本県において
260人 が登録さ 地域で ラスポーツの 指 に た てお ラアスリートの一
の競技力向上のた の 成・資 向上が てい す (33 8参)

いわて国体に向けた選手 化の一環として 国体 目の競技団体に 化 者を 置し
指 体を 化して した とも の指 体を し 競技力の ・向上を る
とが てい す

スポーツ少年団 高等 のジ ア期の選手の競技力向上等 の拡大を る
とがト アスリートを生 した の とな てお の年 の指 者に 選手の
を見 え スポーツ ・ 的な見 に基 いた で 的なトレ ンの と指 技
の資 向上が す

ト アスリートの育成に 国ト レ の リアを つト 一の技 指 等
が 要です 本県で 2023 (令和5) 年度 日本 一 での指 経 選手を す
るなどの経 を つ指 者16名をト 一 として 定してお なる 成・資 向上を
る 要が す

本県において 2020 (令和2) 年度に実施した「スポーツ ータ活用に関する競技団体
」に ると 競技団体の92 がスポーツ ータの活用が 要 と が たが 実際に
活用していると した競技団体 42 に てお 競技力向上を るた に 的
に基 いた ジタ 技 を したスポーツ ータの ・ 活用に る 的 つ
的な指 の ・定 が てい す

アスリートの ポート人材として アスリートと の 一 等に対してスポーツ ・ の
的な見地 言・指 を行 のアスレテ トレー ー スポーツ タ
ー スポーツ ンテ スト¹ スポーツ² 2022 (令和4) 年10月現 国で12 442
人が登録さ 本県で 134人が登録さ てい す

アスリートが して競技に る環境を整備するた に アン ・ ー ン に関する
育・ 発・ を行 団 人日本アン ・ ー ン 機 () のス
ポーツフ ー スト³ 2023 (令和5) 年4月現 国で812 701人が 本県で 119人
が登録さ 国際大会 国スポ 場に際し の が義 付け ている選手団等 の
活 を行 てい す

本県で いわて国体を 機として スポーツ障 ・外 の アスレテ リ
リテー ン 体カトレ ン ン 等 アスリートの ポート活 に た
る「いわてアスレテ トレー ー」を に110人 を 成し 国体を じ とした様 な
大会に してい す の ポート 競技力の向上に大 な成 を てお も
アスリート ラアスリート 競技団体等の 一 に応え る なる活用が て
い す

(位 人)

資格区分		2022 年度	
スポーツ指導者基礎資格	コーチングアシスタント	389	
	小計	389	
競技別指導者資格	スタートコーチ	スポーツ少年団	296
		教員免許状所有者	4
		競技別	45
	コーチ	コーチ 1	1,812
		コーチ 2	185
		コーチ 3	413
		コーチ 4	84
	教師	教師	15
上級教師		11	
小計		2,865	
メディカル・コンディショニング資格	スポーツドクター	78	
	スポーツデンティスト	16	
	アスレティックトレーナー	35	
	スポーツ栄養士	5	
小計		134	
フィットネス資格	フィットネストレーナー	9	
	スポーツプログラマー	47	
	ジュニアスポーツ指導員	47	
小計		103	
マネジメント資格	アシスタントマネジャー	142	
	クラブマネジャー	3	
小計		145	
旧資格	スポーツトレーナー	1 級	0
		2 級	0
小計		0	
合計		3,636	

() 日本スポーツ 会 都道府県別 スポーツ指 者登録状況 年度

(単位：人)

資格区分		2022 年度
J S P O公認 メディカル・コンディショニング資格	スポーツドクター	78
	スポーツデンティスト	16
	アスレティックトレーナー	35
	スポーツ栄養士	5
	小計	134
J S P O公認 マネジメント資格	アシスタントマネジャー	142
	クラブマネジャー	3
	小計	145
J A A公認スポーツファーマシスト		119
いわてアスレティックトレーナー		88
合計		486

出典 | (公財)日本スポーツ協会 | 都道府県別公認スポーツ指導者登録状況 | 2022 年度
| 岩手県 | スポーツ振興課調査 | 2022 年度

ラスリートに対してスポーツ ・ の 的な見地 言・指 を行 日本 ラスポ
ーツ 会 の ラスポーツ ラスポーツトレ ー 2023 (令和5) 年3月現 国
で840人 が登録さ 本県で ラスポーツ 10人 ラスポーツトレ ー4人が登録さ て
い すが で ラスポーツで したア ー の機会が少な たた 競技力向上
に向けた ポート活 の充実が てい す

の 方 性

スポーツ少年団 ・ 高等 の指 者等 ジ ア選手の育成に携わる指 者の資 向
上に す
国際大会等で活躍するト アスリートをするた 県内指 者に の指 技
等を する機会を し 本県競技力の ・向上を支える指 者の資 向上に す
県体 県障スポ 会等と連携し 障がい者を むアスリートの競技力向上を支える指 者を
成するとともに 資 向上に す
本県アスリートの競技力向上を目指し 一々の活用にと る ー ン がで る指 者の
発掘・ 成を るとともに 的 つ 的な指 の (スポーツ指 の ジタ 化)に
す
障がい者を むアスリートの ポート体 の一 の充実を るた 関 団体と連携し
の競技力向上を支える人材の育成を 進するとともに 「アスレテ トレー ー・いわて
アスレテ トレー ー」の活用の推進に す



の

市町村 市町村体 と カし スポーツ少年団 ・高等 等のスポーツ指 者に対
して スポーツ ・ 的な 見を する に る 会を開 し 指 者 体の と指
技 の 上 を るとともに 国で活躍する指 者と連携し 県内指 者の資 向上を
す

日本 一 の指 経 等の る本県指 者をト 一 として 定し スポーツ ・
の ト 一 が一 に会する 会を開 するとともに 競技団体が実施
する の 等に ト 一 の資 向上を す

県体 と連携して 競技団体における 指 者の資 を 進し 資 者の
増加を す

日本 ラスポーツ 会 の ラスポーツ指 員の 成 を実施するとともに ラアス
リート の指 者を対 とした実技指 等に ラスポーツ指 員の資 向上を
す

競技団体指 者を対 とした 一タ 理方 のスポーツ 一タ活用の 会等の
実施に の を 観的に活用で る指 者の 成を す

ス ー の ポー の育成

県 会 県 会 県 会等の 関 団体と連携し スポーツ ター スポ
ーツ ンテ スト スポーツフ ー スト スポーツ 等の資 を 進するととも
に 資 者の 的 見を活用し 障がい者を むアスリート 競技団体等に対し 障

アン ・ ー ン スポーツ 等に る ポートに す

障がい者を むアスリート 競技団体等が る ポートに 応えるた 様 な大会 化
会に アスレテ トレー ー 「いわてアスレテ トレー ー」の活
用に す

コラム
No.

スポーツ リ クス ポー

ル機 を してコー ン をする の が に られるようにな
たり、 ー からスポーツ や ーム フ ースを する が した
りするなど、 ル機 の によ てスポーツ 場の が大きく してき
ています。 のため、スポーツ には、 ル や こから 取れた ー
を ・ して活 する 力が められるようにな てきています。また、 のよう
な ポートを したいという スリートからの ー も高ま っています。

こて、 年 から、県内のスポーツ 団体に し、 フト エ
ステム を しています。 を たコー ンの手 や、 ー からスポ
ーツ ー を 取・ するための や を ーも実施し、 の
向上を図 っています。

が 様なコー ン スルを に けることにより、 スリートの が
らに まり、 で なるスポーツ実 に なることから、 力の向上が期
れます。



- 用
- 1 スポーツ ス
スポーツ ター ー 等との なる連携のもと 選手の健康管理 スポーツ障 スポーツ外 の
等に たる
 - 2 スポーツ
競技者の ・ 事に関する 管理 力を高 るた の 育 環境の整備等を 的 支援
ポートを行
 - 3 スポーツ ー ス
アン ・ ー ン 規 に関する を する

(3) え の

現状と課題

国において 国際競技力向上に向け スポーツ ・ ・ の 支援を行
 として 国 スポーツ ンター () を2001 (成13) 年に ンし
 競技団体と連携のもと 域の ・ を推進するとともに の成 を えて競技
 者・指 者等 の支援を行 てい す た 日本 選手等の国際競技力の 合的な向上を
 るトレー ン 施設として に した トレー ン ンター () を
 2008 (成20) 年に開 2016 (成28) 年に と が つスポーツ ・
 等に る 支援 高度な 的トレー ン 環境を し 国内外の イ フ ー
 ンススポーツ ¹ の 化に する とを目的とした イ フ ー ンススポーツ ンター ()
) ² を設 し 国際競技力の向上に てい す
 本県で 2013 (成25) 年度 いわて国体に向けて 県営ス ート場内にスポー
 ツ ・ 定のた のス ースを設置し アスリートの ・体力 定を実施し の を
 評価・ してトレー ン ーを する ・ ポートを実施してい す の
 いわて国体での 位第2位に するなど 成 を てい す アスリート 指
 者 で行わ ている 高度な 生理 的 定 ータ等を用いた評価・
 的トレー ン スポーツ ン ン等の に るトータ 的な
 ポートを できる とがで る が てい す
 アスリートの ポート体 アスレテ トレー ーと せて 本県 に
 成した「いわてアスレテ トレー ー」等を 化 会 大会等 するなど
 いわて国体を 機に充実して てお も女性 手のトレー ー 体の ア けでな
 トレー ン 指 もで るトレー ーの なる活用が てい す
 県内の大 関 団体等と連携し アスリート 指 者を対 とした スポーツ ・
 の 見に基 いたスポーツ トレー ン スポーツ ンタ アン ・ ーン等の
 会を開 する とに 大会での 成 につなが てい す 日本 として ・
 での ポートを けている本県アスリートの に 県内で レ の ポートを期
 する も 関 団体との連携に る競技力向上に関わる と の機会の充実が 要
 です

国において 年 様 な競技において ン ー ラス ント 力行 等の
 題事 が発生してお スポーツ 長 がスポーツ・インテ リテ (実性・健 性・高 性)
 の確保等の ージを発するなど リーンでフ アなスポーツの推進が てい す
 本県で 県体 と連携し 題事 の に向けた競技団体の ンス 化に てい
 すが 競技団体における リーンでフ アなスポーツの実現に向けた なる が 要です
 国体 目の41 競技団体に 選手 化事業の進行管理を ている 化 者が 置さ てい
 す 化事業における 力の 選手 化 の 的 つ 的な活用等を るた に
 化 者の ジ ント 力の なる向上が 要です

2023 (令和5) 年度の53 競技団体における女性の 員登用数 会長16人 理事 ()
 2人 事 長8人とな てい す た 33市町村体育・スポーツ 会における女性の 員登
 用数 会長3人 事 長4人とな てい す

実施内	2022 年度実
アスレテ トレー ー いわてアスレテ トレー ーの大会等 の (ン ン トレー ン 障 等)	56人 (11人 45人) 486 日間活 (25 競技団体を ポート)
選手の携 ・体力 定 トレー ン ーの (長・体 ・ 体 成等 体力 応 間・ ー・ 力等)	408人 (12 競技団体 22 実施)
選手向け 会 (スポーツ ンタ トレー ン アン ・ ー ン 等)	434人 (14 競技団体 11 実施)
指 者向け 会 (トレー ン ンタ アン ・ ー ン)	1 651人 (51 実施)
市町村 を (スポーツ ンタ トレー ン 障 等)	3 550 (43 団体 59 実施)
地の ・高生向け 会 (スポーツ ンタ トレー ン 等)	532人 (5 10 実施)

岩手県 スポーツ 課 年度

の 方 性

アスリート 競技団体の ー に応えるた スポーツ ・ の 見に基 アスリートの
育成を 的に支援するた の に す
スポーツ ・ 的な 見 資 をし アスリート 指 者の ポートに意 と関 を つ
の 力を て 競技の 性に応じた ポート体 の充実を す
県内の大 関 団体等との連携に アスリートの競技力向上に なスポーツ
トレー ン 等のスポーツ ・ の に関する を行い す
本県のスポーツ現場における ータの活用を支援するなど スポーツ指 の ジタ 化を
し 競技力の向上を す
リーンでフ アなスポーツの実現のた 競技団体を管理・ する理事長 事 長等の
者を に 正 つ健 な 営を推進する ジ ント 力の向上を 進し す
競技団体の 化 者を対 に ー ン ラス ント 力行 等の とともに
選手 化事業の 的な推進に る ジ ント 力の向上を 進し す
女性のスポーツに関する活 環境を するた 競技団体等の 営に女性の を で
る す



スポーツ ・ 活

スポーツ ・ ポートに る人材 機材を活用し 体 等の 体 成等
の基 体力を 定し アスリートのトレー ンの 化を るとともに 競技に 要な 力
を に評価で る評価 ステ を し 的なトレー ン に つ を行 と
がで る に す

た 県内の大 関 団体と連携し 高度な 機 等を用いた 等の生理
的な 定にも す

本県の競技力向上を支える人材として 「いわてアスレテ トレー ー」を 成した
と アスレテ トレー ーと せた活用の推進に むとともに
関 団体 県内大 との連携に 等のスポーツ ・ の 見 資 を する
人材の確保に ポートの を す

スポーツ ・ の 見に基 トレー ン スポーツ アン ・ ー ン 等の
会を実施する とで スポーツ少年団 生 高 生も た い年 のアスリート
指 者が の年 で す 理 を に理 し した上で トレ
ー ン 日常の アに むとともに 成長過 に応じた な活 の日数と 間の で
的で 的な競技力の向上を す

「 ー 」 「 」等の 一タを共 しなが 的に の る 的
な指 を行い 競技力の向上につな す

の 化

スポーツ・インテ リテ (実性・健 性・高 性)を確保するた 県体 と連携し
競技団体事 長会議等を じて ()日本スポーツ 会等が した「スポーツ にお
ける 力行 宣言」の実現に向け スポーツの「場」での 力行 言等の アン
ン ・ ー ン の を るとともに 関 規 理規定等を した健 な 営の
を 進し す

県体 と連携し 競技団体の 化 者を対 とする を実施する とに 選手 化
事業における ラス ント 力等の に向けた を 進し す た イ
に る 評価の実施に る選手 化 の 的 つ 的な活用に向けて支援し 競
技団体が実施する事業の活性化を す

女性のスポーツに関する活 環境の に向け 競技団体 市町村体育・スポーツ 会の女
性 員の登用数の増加を るなど 女性がスポーツをし すい を 進し す

用

1 イ ー ススポーツ
定義「 ーを競い合 レ のアスリートが発 する した フ ー ンス」

2 イ ー ススポーツ ー ()
行 人日本スポーツ ンターが 管理 営している国 スポーツ ンター () の
トレー ン ンター ()等を イ フ ー ンス ンター とし リン 競技と ラ
リン 競技を一体的に え スポーツ ・ 等 に る 支援 高度な 的トレー ン 環
境を し 国内外の イ フ ー ンススポーツ (ーを競い合 スポーツ)の 化に ているもの
地方 共同体 大 が 営する と連携し ト ー を活用しなが 選手 化 の支援も行 ている

コラム

シ ーリーグ()ロ ン ルス・ ン ルス所 の大 選手(市出)は、手 と 者を 立する「 流」で活躍しており、シ ー の ()には、手として、 者としては 本 ・ 点・ の成 を し、ア リン・リーグ 選手()を しました を超える で シ ーリーグの 者を 振にとり、 っては な ームラ ンをスタン に り む は、岩手の た に大 な を かせ、県民に 動と りを たら しました () に開催さ た ール ・ベースボール・クラシック()におい て 大会 選手()を する活躍を見せ、 ロッテ・ リーンズ所 の 希 選手(高 市出)とと に、 大会 りの に しました

競技では、スキージ ンプの 林 選手(市出)が 京 リンピック ールル で ル ラージルで ル 選手 プラニツ 大会ラージルで ルを しました 林選 手は、いわてスーパーキッズ発 ・育成事業の第1期生で、全国のタレント発 ・育成事業の リンピ ック リスト第1 で あります

東京 リンピック、 京 リンピックには、 の本県 かりの選手 が出 し、 林選手の に 選手(市出)がスキー ルディックコンバイン 団体で ルを するな 県民の期 に大いに応えてく ました

女性アスリートの活躍としては、ス ーポー の岩 楽選手(関市出)が、 () に ール ップ・ビッグアで の の を るとと に、 (ックス ームズ) ス ーポー ・ビッグ アで を るな 国内 に の を かせました 本県 かりの選手による を とする活躍には を見る のがあり、 と リンピ ックをはじめとする各種国際大会での活躍が大いに期 さ るとこ です

今後、市町村との連携による取組の拡大等、更なる地域の取組が期されています。

- ラグーールドッ 2019岩手・ の開催を機とし、県内市町村や関係団体とともに「ラグー一県いわて」の に取組んで取り組んでいます。
- 東京2020大会では、8市町がホストタウン、14市町村が興「ありがとう」ホストタウン、3市町村が共生ホストタウンに登録となり、手国との交流や事 ンの受 れ支援を行いました。
- 東京2020大会を機とした、東京都等と連携した 地でのスポーツ交流事業を実施しています。

の方 性

- スポーツツーリ ムの拡大を目指し、「いわてスポーツ ラットフ ーム」での意 等を きながら、いわてスポーツコミッションを中心とした大会・合 の 等により、人的・経 的交流の拡大に取り組めます。
- 本県の 、 、 、 等豊かな自 を生かしたトレイルラン、シー ック、ラフティング等のスポーツアクティ ティの普及のため、 力的な地域づくりに取り組めます。
- トッ ・ ロスポーツチームと連携・協 し、本県 ーイ ージの県内定着に取り組むとともに、スポーツイベント等の取組を通じ、地域の活性化を図ります。
- ラグーールドッ 2019岩手・ 開催や東京2020大会を機とした「ラグー一県いわて」やホストタウン等の取組を機とした交流、東京都と連携した 地でのスポーツ交流事業等の取組を通じ、引き続き交流人 の拡大に取り組めます。

スポーツコ ・ ロスポーツ ー と 地域活性化の 進

- 国内 からの交流人 を拡大するとともに、より多くの県民がスポーツを観戦し れた レーを て楽しむ機会を増加させるため、いわてスポーツコミッションの サイト、 等により、本県のスポーツ資源やスポーツイベント等の情報発 に 的に取り組めます。
- スポーツ大会や合 の 等を ジ ントする人材を育成するなど受 を整えるほか、 都 において合 会を実施するなど、県内各地において大会・合 の を進め、各種競技の国内 を 成します。
- スポーツツーリ ムを拡充するため、いわてスポーツコミッションの サイト等を活用し、本県の豊かな自 や地域の特 を生かしたスポーツアクティ ティの普及など、地域活性化の推進に取り組めます。
- 市町村と連携し、トッ ・ ロスポーツチームによる どもや高齢者と選手が れあうスポーツ教室の開催や観戦機会の提供等を通じて、県民のチームへの 着や地域とチームの一体感の 成を図ります。
また、ホーム ームにおける 合の開催やユニフ ームへのロゴ 出を継続し、本県 ーイ ージの県内定着に引き続き取り組むとともに、アウ イ ームにおける県内の観 情報の発 等により、県内への につなげ、交流人 の拡大に取り組めます。

大 スポーツ大会 と の 進

- 関係機関・団体等と連携し、ラグー ー ルド ッ 2019岩手・ 開催を 機とした交流 人の拡大、「 住 興スタジアム」の利活用等による地域活性化の取組を促進します。
- 市をはじめとする県内市町村と連携した「ラグー ー 県いわて」の情報発 の取組を推進 します。
- 東京2020大会に係るホストタウン等の取組を 機として、継続的な 交流を促進します。
- 東日本大 以 の東京都と 地との を一層深めるため、東京2020大会を 機として実 施している 地でのスポーツ交流事業により、本県の 力や 伝 の取組の情報を発 し ます。

コラム No.10

ラー ー ル ッ 2019岩手・ 開催
2019(令和)年の「ラ ー ー ル ッ 2019 大会」に いては、 大
の 地で 一の開催 市となった岩手・ から、これまでにいただいた
に対する感 と い の を 中に することができました。

また、 の で にも 中止を余儀なくされたナ ア と ナ の選手
による 地 活動は、岩手県民・ 市民を まし、 と を 、 の共感
と感動を呼 こととなりました。

クライ ー ル ッ 2022
2022(令和)年の「 クライ ー ル ッ コンバイン いて盛岡
2022」が、 大会の開催に対 できる を た 内でも 数の競技 である岩手県
運動 で開催されました。パ で されるボル ン と ー を組み せた
新 目「コンバイン 」が で めて実施され、21の と地域から約70名の選手が参
加し、 のトッ 選手による い いが り げられました。

マス ー 2022岩手大会・いて 平 体
2022(令和)年 、県内に いて「 スポーツマス ー 2022岩手大会」、「い
て 平 体」が開催されました。

2022(令和)年 月に開催された「 スポーツマス ー 2022岩手大会」は、
県では めての開催となり、 から6500人を るシ ア の選手の さ が参加
し、県内24 会 で13の 競技が行 れました。

また、2016(平成28)年の いて 体以 、 年 りとなる「いて 平
体」が2023(令和5)年2月に開催され、選手・ 約1700人が参加しました。

後、これまでの大 大会の開催実 を活かしながら、継続的な大会 に取り組 してい
きます。

<用語解説>

1 ス ウ

東京2020大会参加国・地域との 交流を図るとともに地域の活性化等を推進することを目的とし、住民等と
参加選手や関係者、日本人 リンピアン・パラリンピアンとの交流及び の取組を行う地方公共団体。

(2) の活性化 スポーツの 進

現 状 と 課 題

スポーツの 健康の増進 体力・ 力の向上に 地域 テ の 成
地域の連 の向上 観光等に る経済 の 等 地域活性化の 性を大 拡 す
本県における観光目的の入込 数(人数) 2019(令和)年の29 213 人・ 2021
(令和3)年に 型 ウイ ス の 拡大の も 数 度の15 600 人・
に 込 でい す

た 本県を訪 た外国人観光 も2019(令和)年の464 人・ 2021(令和3)年 10
人・ に大 少してい す

大規 スポーツイ ントの開 を 機として 国内外 の を るとともに 県するア
スリート 大会関 者 観 に対し 観光等の 活 を 的にしてい た の 内
が 要です

県で 県内ト ・ スポーツ ー との連携に ホー ー において「 の
いわて 」を した 合を開 している アウ イ ー を対外的 込 活 の機会として
本県の観光 の 等に でお も なる連携に る県 を じ
とする県 の 込 県外 の を る が 要です

国において 型 ウイ ス の 拡大の を けたものの 地域経済の活性
化の基 となるスタジア ・アリー 施設の整備等 スポーツ市場規 を2015(成27)年の5 5
2020(令和2)年 でに10 2025(令和7)年 でに15 に拡大する とを目
指し スポーツの成長 業化 の を推進していると です

本県においても ラ ー ー 2019岩手・ 開 ライ ン ー
2022等の大規 大会の開 を 機に スポーツ大会を ジ ス ンスと えるなど 県内 業
のスポーツ ジ ス の関 が高 てい す

県内のトレ スポーツウ ア 等のスポーツ関連 業と連携して 健康に対する
たな ジ ス の 事業者の たな 開発等の を 進する とが 要です
県において 2017(成29)年10月に市町村 スポーツ団体 観光団体 ト ・
スポーツ ー 等60団体を 成団体としていわてスポーツ ンを設 するとともに
2022(令和4)年度に スポーツを じた地域活性化等の を一 的に推進するた
民一体に るスポーツ推進体 「いわてスポーツ ラ トフ ー 」を設置し 県体 スポ
事業団 市町村体 等のスポーツ団体 業 競技団体等と連携した を推進してい す

の 方 性

地域経済の活性化を るた 「いわてスポーツ ラ トフ ー 」での意見等を なが
いわてスポーツ ンを とした 大規 スポーツイ ント等の に 人的・経
済的 の拡大に す

関 機関・団体と連携し 大規 スポーツイ ント等を 機として 県 を じ
とする県 の の拡大に す

ト ・ スポーツ ー と連携し ポーター 観 等をター トとした観光 県
の 発 等に す

県内 業の を 進するた スポーツ市場の拡大の 性 た ジ ス 等の

等を じ スポーツ ジ スの 発を す
スポーツに む多 の人 の目的 レ ー に応じた技 の実用化に向け
県内 業の ・開発を 進し す



大 スポーツイ と の
いわてスポーツ ンの イト 等に る本県のスポーツ資 入
の 発に 経済 の高い大規 スポーツイ ントの に す
県内で開 さる大規 スポーツイ ントに 県するアスリート 大会関 者に対し
観光等の を事 に てる す
大規 スポーツイ ント等の機会を活用し 関 機関・団体と連携のもと 観光 の発
県 を じ とする県 の 拡大に す

・ ロスポーツと の

ト ・ スポーツ ー の 等の機会を活用し 関 機関・団体と連携のもと 県
外 の を 県 を じ とする県 の 拡大に す
ト ・ スポーツ ー の 等の機会を活用し 関 機関・団体と連携のもと
ポーター 観 に向けた観光 の発 県 を じ とする県 の に
す

スポーツ スの ・ 大

国が実施するスポーツ市場の 向 等の を 県内で共 する とに 県内のト
・ スポーツ ー を じ とする スポーツ団体 市町村 大 等と市町村 民間
事業者等との連携に る たなスポーツ ジ スの を 進し す
スポーツに関連した技 の共 ・開発に向け 「いわてスポーツ ラ トフ ー
」の意見等を え スポーツ ・ ポートスタ フ 団 人いわて 業
ンター 地方 行 人岩手県 業技 ンター 団 人岩手生 ンタ
一等を た 連携に る県内 業の を 進し す

コラム

スポーツの 会 の

県内で開催さる大規模大会やトップ・プロスポーツチームと連携して、県内からきた選手の皆さんにパンフレットのやでの情報発信を行ったか、大会をじて県した選手の皆さんに、本県 かりの物や、岩手県産材をった料理をしたり、者等への記品として部のルや県産リンをあしらったビクトリーブーを授するな、更にスポーツの機会をじて本県の魅力を発信しています



いわてスポーツ



いわてスポーツコ ッシ ン
イト コー

いわてスポーツコ ッシ ン イト

用
1 ル (r d)
内でラン ン ウ ー ン を行 た の健康 ー ラン ー ラン ン ジ ン
ンなどとも する

第4章 計画の進・進

1 計画の進

☒ マ

マ ☒

マ

☒

マ

パ

☒

(4)

☒

☒

(4)

2 計画の進



施策の柱	指標名		現状値 2022 (R4)	年度目標値				計画目標値 2028 (R10)
				2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	
ライフステージに応じて楽しむ生涯スポーツの推進	週1回以上のスポーツ実施率(20歳以上)		64.7%	2023 (R5) 68.2%	2024 (R6) 69.1%	2025 (R7) 70.0%	2026 (R8) 70.9%	2027 (R9) 71.8%
	体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合	小5男子	65.0%	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%
		小5女子	77.1%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%
		中2男子	73.6%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%
		中2女子	88.4%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%
共生社会型スポーツの推進	障がい者スポーツの教室・大会の参加人数 [累計]		9,259人	14,290人	16,920人	19,610人	22,360人	25,170人
国際的に活躍する競技スポーツの推進	①本県関係選手の日本代表選出数 [累計]		98人	151人	179人	207人	235人	263人
	②全国大会入賞競技団体数 [累計]		50団体	110団体	140団体	170団体	200団体	230団体
地域を活性化させるスポーツの推進	スポーツ大会・合宿・イベントの参加者数 [累計]		446千人	626千人	754千人	896千人	1,052千人	1,222千人

3 計画の



(単位：%)

目標目	分	年度	基準値	年度	中間実績値	年度	報値	年度	目標値(5)
適体を持っている者の増加(25以上)、やせ(18未満)の減少)	者の割合【20歳～60歳・性】1		32.7		40.0		36.9		30.0
	者の割合【40歳～60歳・性】1		27.2		26.2		21.8		26.0
	やせの者の割合【20歳・性】2		18.0		17.5		15.9		12.0

出典 | 岩手県 | 1 県民生活習慣実 調査 (4 報値) 2 令和3年度岩手県 医学協会事業 健

(単位：)

目標目	分	年度	基準値	年度	中間実績値	年度	報値	年度	目標値(5)
日常生活における 行数の増加	20歳～64歳 性		6,951		6,521		6,581		8,800
	20歳～64歳 性		6,449		6,502		5,874		8,200
	65歳以上 性		5,177		4,566		5,039		7,000
	65歳以上 性		3,901		4,351		4,130		5,700

出典 | 岩手県 | 県民生活習慣実 調査 (4 報値)

(単位：円)

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
回数	1,144	1,120	1,100	1,089	1,075	1,011	979	926

出典 | 岩手県 | スポーツ振興課調査 | 2015年度～2022年度

フ (5)

(単位：事業)

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
登録事業数	816	1,101	1,361	1,565	1,764

出典 | 全国健康保 協会岩手支部 | 「いわて健康経営 言」登録事業 一 | 2018年度～2022年度

(単位：人)

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
参加者数	3,268	2,725	475	599	1,175

出典 | 岩手県 | スポーツ振興課調査 | 2018年度～2022年度

マ

(単位：人)

域	市町村	委員数	のうち 性委員数
県	市	81	25
	平市	13	4
	市	10	4
	町	11	3
	町	12	5
	岩手町	18	3
	町	14	5
	町	12	5
県	市	39	14
	上市	50	18
	市	17	3
	一関市	52	16
	市	47	16
	和 町	10	4
	金 町	12	4
	平 町	10	2
県	市	18	7
	大 市	20	5
	高 市	13	3
	市	15	6
	住 町	10	2
	大 町	6	3
	町	8	7
	岩 町	12	3
村	6	1	
県	市	19	4
	市	13	2
	普 村	8	1
	軽 町	14	4
	村	5	2
	村	15	2
	町	16	7
	一 町	28	11
合計		634	201

出典 | 岩手県 | スポーツ振興課調査 | 2023年度

(単位：日、%)

施設	開場（開館）日	利用日数	利用率
岩手県営運動公園	2,900	2,447	84.4
岩手県営体育館	333	327	98.2
岩手県営 球場	313	310	99.0
岩手県営ス ート場	294	127	43.2
岩手県 身体障がい者体育館	315	315	100.0
岩手県立 広域公園	168	167	99.4
岩手県営ス ージャン 場	164	87	53.0
岩手県営 道館	310	310	100.0
岩手県営 内 ール	331	331	100.0

岩手県営運動公園の開場（開館）日： 上競技場、補助競技場、 球場、第1グラウンド、第2グラウンド、テニスコート、登 競技場、交通公園、一般利用（あ びの 、団体利用、 人利用）の合計

出典 | 岩手県 | スポーツ振興課調査 | 2022年度

(4) グ

	都道府県		都道府県		都道府県
1	道	17	県	33	和 県
2	道 市	18	県 市	34	取県
3	道 深町	19	県	35	県
4	道上	20	新 県 市	36	広 県
5	県	21	県	37	広 県福 市
6	岩手県	22	県	38	県
7	県	23	県	39	県
8	県	24	福 県	40	県
9	県	25	県	41	高知県
10	福 県	26	県 市	42	福 県
11	県	27	知県	43	県
12	県	28	県	44	県
13	県	29	県	45	大分県
14	県	30	県	46	県
15	県	31	京都府	47	児 県 児 市
16	東京都	32	県		

出典 | 独立行 法人日本スポーツ振興センター | ールドクラス・パスウ イ・ ット ーク会員一 | 2023年度

(お) (お) す
(単位：人)

	2021年度 用	2022年度 用	2023年度 用	合計
選手数	2	3	3	8

出典 | 岩手県 | スポーツ振興課調査 | 2021年度～2023年度

(5)

分	市町村	手国・地域	登録年月	備考	
ホストタウン	市	ナ	2016年12月		
		リ共和国	2019年8月		
	市	ブラジル連 共和国	2017年12月		
	平市	ル ン 共和国	2018年8月		
	町	ナ	2018年8月	市との共	
	市	ナミ ア共和国	2019年6月		
	和 町	コートジボ ール共 和国	2019年8月		
	一 町	パラグアイ共和国	2019年8月		
	岩手町	アイルランド	2019年12月		
興「ありがとう」 ホストタウン	大 市	ア リ 合 国	2017年11月		
	市	ア リ 合 国 ーストリア共和国	2017年11月		
	高 市	シン ポール共和国	2017年11月		
	市	ーストラリア連	2017年11月		
	村		2017年11月		
	市	シン ポール共和国	2018年1月		
	町	ドイツ連 共和国	2018年4月		
	町	ラン 国	2018年7月		
	市	リトアニア共和国	2019年3月		
	大 町			2019年7月	
			サウジアラ ア 国	2019年11月	
	市	ボン共和国	2019年7月		

	町	ーストリア共和国	2020年2月	
	上市	セル ア共和国	2020年4月	
	市	ブラジル連 共和国	2021年8月	
共生社会ホストタウン	市	ブラジル連 共和国	2018年5月	
	高 市	シン ポール共和国	2020年4月	
	一 町	パラグアイ共和国	2020年12月	

出典 | 岩手県 | スポーツ振興課調査 | 2021年8月現在

(単位：人・回)

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
観 数	27,593,859	28,402,625	29,213,467	16,879,246	15,600,557
日 国 人 数	260,392	344,140	464,197	98,081	10,854

出典 | 岩手県 | 岩手県観 計 | 2017年度～2021年度

12 計画策定の

時 期	内 容
2023（令和5）年 6月21日	第27回（令和5年度第1回）岩手県スポーツ推進 会 事 「岩手県スポーツ推進計画」の取組 について 「第2期岩手県スポーツ推進計画」の 定について 報告 いわて 平 国体について 特別国民体育大会 大会の岩手県選手団派遣 及び について
2023（令和5）年 11月14日	
	パブリック・コ ントの実施
	岩手県教育委員会協 会における意 取
	令和5年度第2回岩手県総合教育会 協 事 期岩手県教育振興計画（ ）について 期岩手県スポーツ推進計画について
2024（令和6）年 2月6日	

期：2022（令和4）年6月23日～2024（令和6）年6月22日

	役 職	備 考
中	一 町教育委員会教育	
小	岩手県 工会 連合会理事	
行	一般社団法人岩手県医 会常 理事	
	公益財団法人岩手県体育協会 会 理事	
	岩手県スポーツ推進委員協 会会	
中 村 和 平	岩手県高等学校体育連 理事	
小 市	岩手県中学校体育連 理事	
部	岩手県小学校体育研究会	
内	学校法人 大学経 学部 教授	
中	ロンドン リンピックホッ ー競技 日本	
今	障がい者アスリート（大 市身体障がい者協会理事）	
	法人アウル スポーツア デミー	
	ウンセラー	

会

岩手県文化スポーツ部スポーツ振興課

〒020-8570 盛岡市内丸 10-1

TEL 019-629-6495 FAX 019-629-6791

メールアドレス AK0003@pref.iwate.jp